「既存住宅流通促進モデル事業」に関する対象地域居住者 アンケート調査

最終報告書

目次

■アンケート結果概要 ･･･ 2

■アンケート結果詳細 ･･･13

1)回答者の属性 ･･･14

2)住居の状況について ･･･25

3)暮らしについて ･･･28

4)住宅診断について ･･･32

5)リフォームについて ･･･38

6)住み替えについて ･･･42

アンケート結果概要

■調査実施概要

1)調査目的

国土交通省「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」の推進にあたり、対象地域の住民の実態、ニーズを把握するために実施。

2)調査対象者と人数

真弓・真弓南・白庭台住宅地に居住する世帯。回収率44.1%(1,421件回収/3,225件配布)。

	真弓	真弓南	白庭台	不明	計
配布数	1,077	511	1,637	0	3,225
回収数	389	220	803	9	1,421
構成比	27.4 %	15.5 %	56.5%	0.6 %	100.0%

3)調査方法

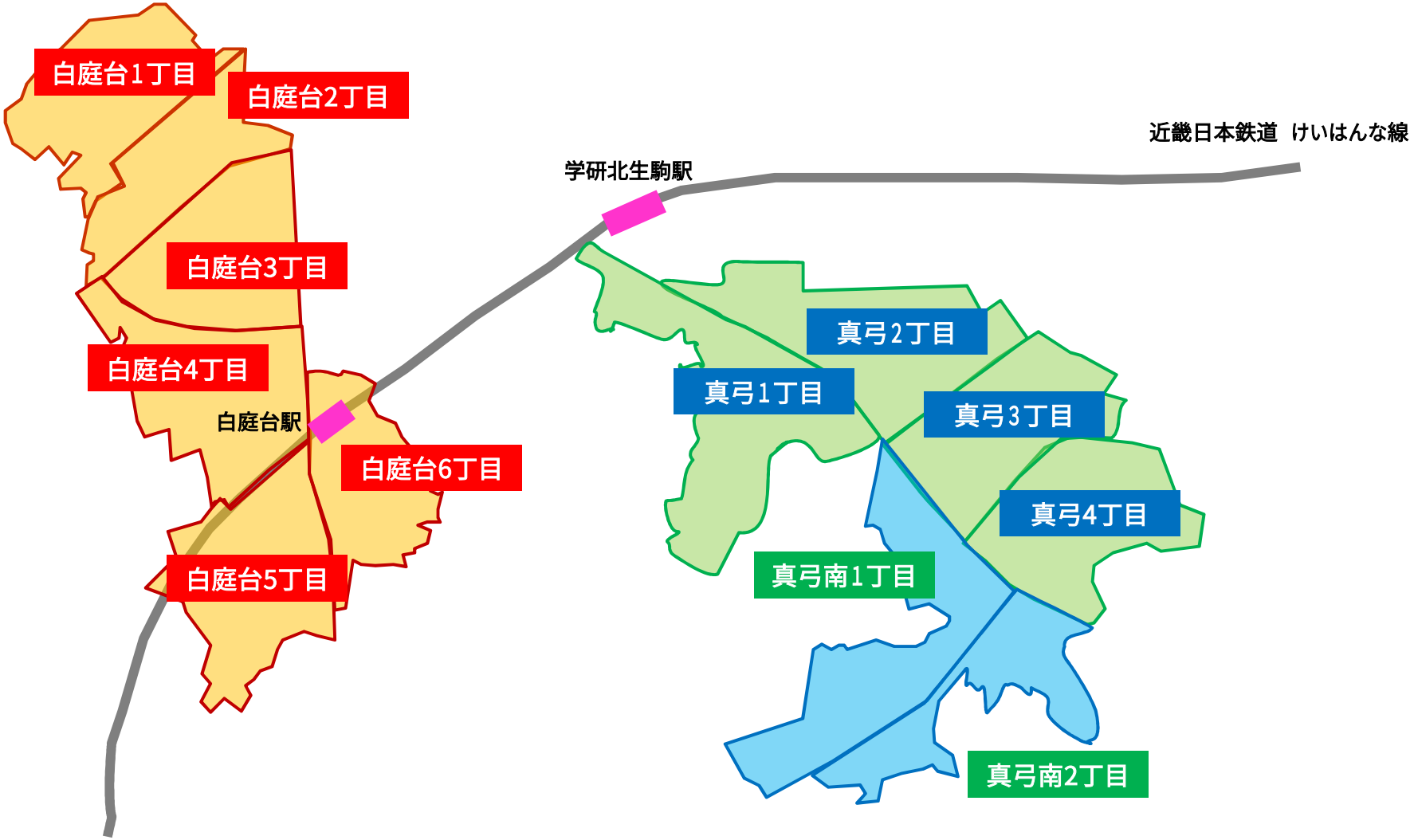
【アンケート配布】　対象世帯へのポスティング

【アンケート回収】　近鉄グループの店舗にて回収　または　郵送にて回収

4)調査期間

2014年10月1日～10月17日

■対象エリアマップ


白庭台1丁目
白庭台2丁目
白庭台3丁目
白庭台4丁目
白庭台駅
白庭台5丁目
白庭台6丁目
近畿日本鉄道　けいはんな線
学研北生駒駅
真弓2丁目
真弓1丁目
真弓3丁目
真弓4丁目
真弓南1丁目
真弓南2丁目

■調査実施結果概要　1)回答者の属性

・今回の対象エリアの過半数は50代以上であり、70代以上の高齢者も多いが、
20代から40代も4割程度存在し、極端に特定世代に偏りがあるわけではない。（右図ご参考）

・20～40代の8割以上が子供と同居している子育て世帯であり、
そのうち約4割程度が共働き世帯である。

・70代以上で「親がいる」割合は20%（同居5%、非同居15%）、
60代で「親がいる」割合は55%（同居6%、非同居49%）となっており、
自身や配偶者の介護以上に親の介護が喫緊の課題となる高齢世帯が一定数存在する。

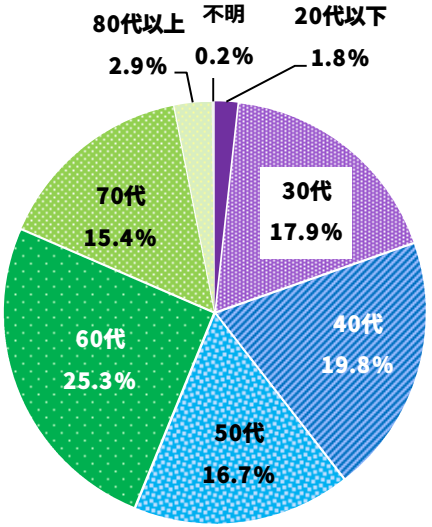
・一人暮らしは全体の5%。70代以上に限っても12%程度（8割以上は同居者がいる）。
一人暮らしの7割は女性。

・60代の43%、70代以上の14%が仕事を持っている。

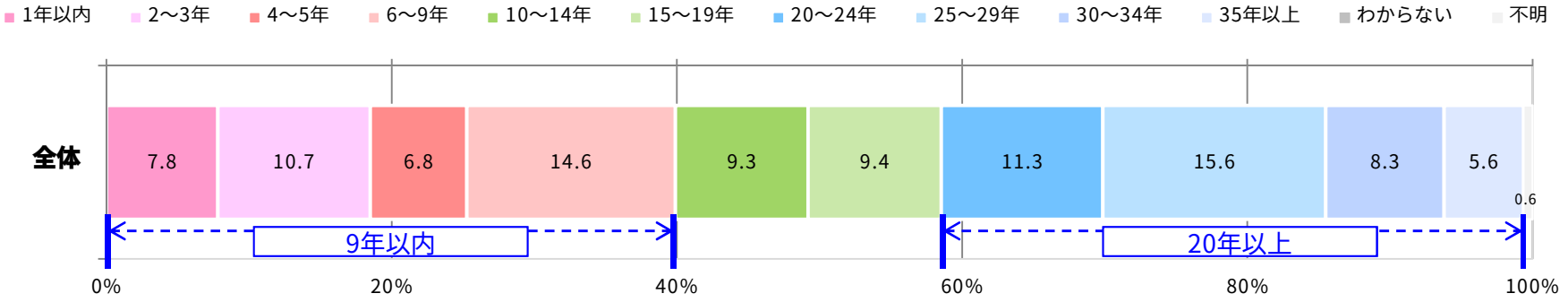
**・このエリアに20年以上の長期にわたって住み続けている方（主に高齢世帯）が4割弱存在する一方で、
比較的最近（9年以内）移ってきた方（主に子育て世帯）も4割弱存在しており、
「高齢化が進行しつつも、子育て世代（20～40代）の流入もみられるエリア」だと位置付けられる。**（下図ご参考）

【年代】

n＝1,421人



【現在の地域の居住年数】

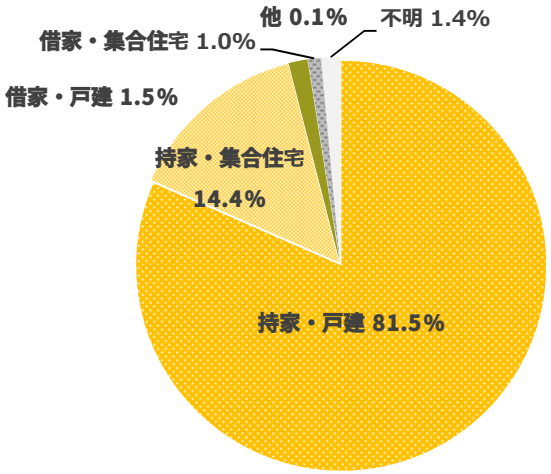


■調査実施結果概要　2)住居の状況について

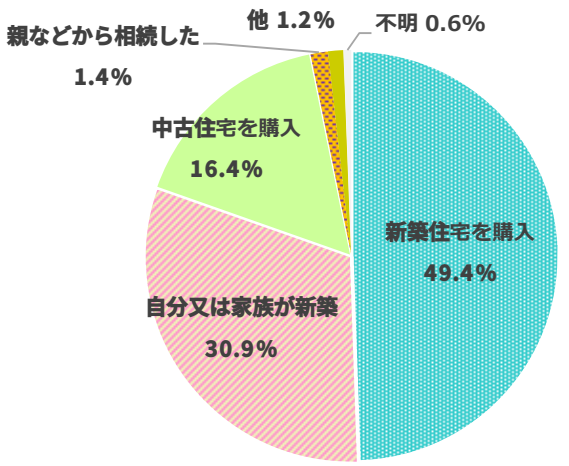
・今回の対象エリアの82%が「持家の戸建」に居住している。
また、「持家の集合住宅」に居住している方が14%であり、**全体の96%が「持家」に居住しているエリアである。**（左下図ご参考）

・「新築で入居」した方が全体の8割を占め、「中古住宅を購入」は16%に留まる。（右下図ご参考）
「中古住宅を購入」した方は若い世代ほど多く、「20～30代」では23%と他の層と比べて高くなる。

【住居形態】　n＝1,421人

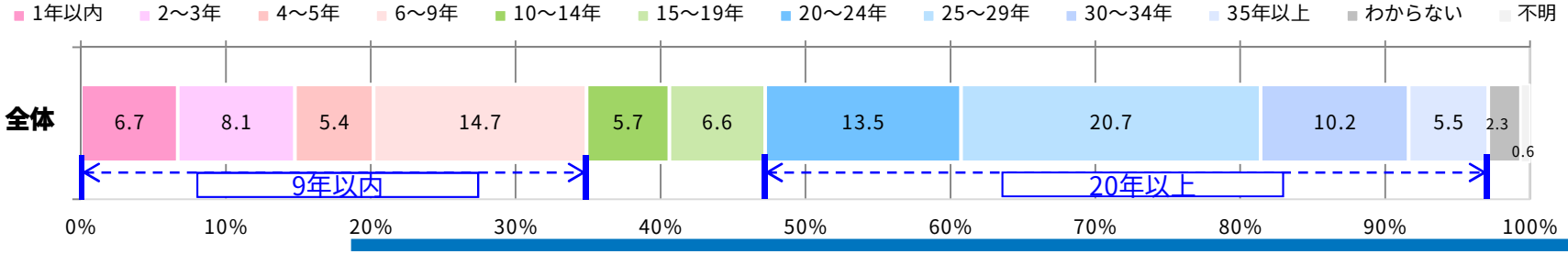


【住居取得方法】　n＝1,421人



・築9年以内の住居は全体の35%、築20年以上の住居は全体の50%である。（下図ご参考）

【住居の築年数】



■調査実施結果概要　3)暮らしについて

・最寄駅で「暮らしの情報」が入手できるようになれば「非常に便利」「便利」と回答した方は全体の8割弱を占めた。（右図ご参考）

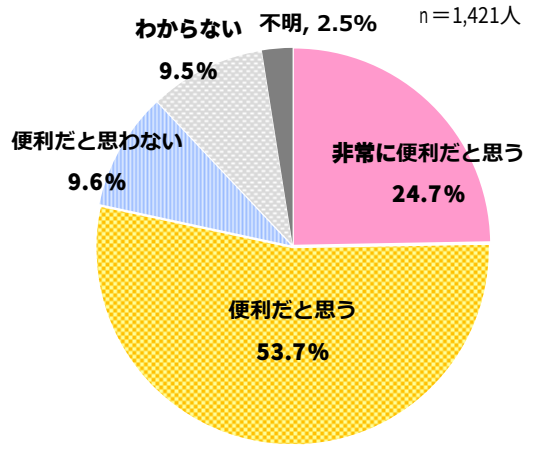
・「暮らしの中で感じる不安・不便なこと」として、最も高い回答は「地震等の自然災害の発生」。
なお、**60代以上では「自分や配偶者の健康」、40～50代では「親の健康」、20～40代では「子供の教育や将来のこと」が上位の回答となった。**
また、60代以上の一人暮らしは、「食料品の等の買い物」「自家用車や公共交通機関による外出」が他の層より高い回答となった。

・「暮らしの中でもっと手軽に入手したい情報」として、**最も高い回答は「災害や急病・事故・けが、隣人トラブルなど突発的な困り事が起こった時の相談窓口、支援に関する情報」。**
なお、20～30代では「子育てに関する情報」、40代以下では「地域のお店のお得情報」、50代以上では「健康に関する情報」が上位の回答となった。

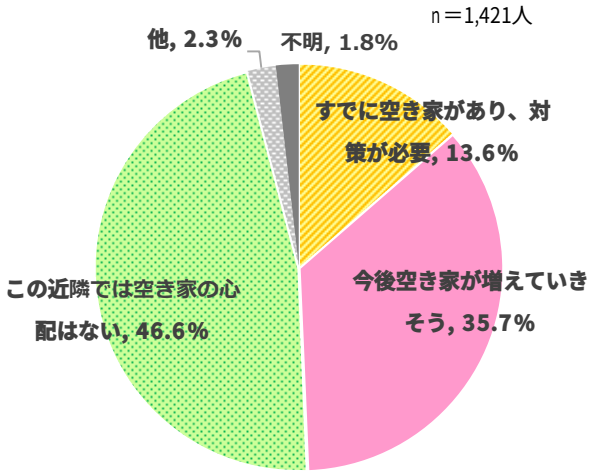
・空き家に関する意識については、**「この近隣では空き家の心配はない」が半数近くを占め、「対策が必要」は1割強に留まった。**（右図ご参考）

・但し住宅分譲開始が古いエリアから徐々に空き家への懸念が広がりつつある傾向もみられた。

【最寄駅で暮らしの情報が入手できれば便利か】



【空き家に対する意識】



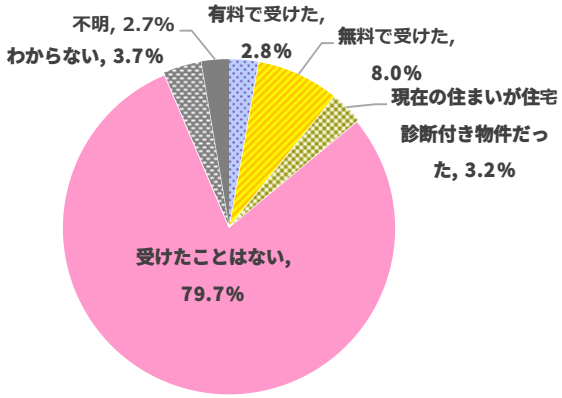
■調査実施結果概要　4)住宅診断について

・過去に「住宅診断を受けたことがない」方が全体の8割を占めており、「有料で受けたことがある」のはわずか3%弱。(左下図ご参考)

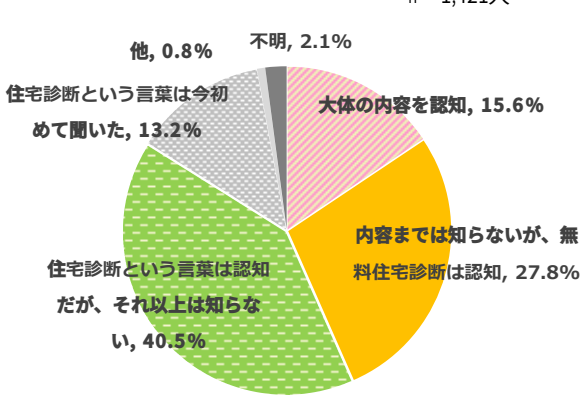
・今回のモデル事業における「無料住宅診断」に関しても、「住宅診断という言葉は聞いたことがそれ以上のことはよく知らない」が4割を占め、「住宅診断」という言葉自体を初めて聞いたという方も13%存在するなど、**「住宅診断」の存在自体が十分に認知されていない。**(中下図ご参考)

・一方で、**今回のモデル事業の住宅診断に「申込済・申込予定」が4%、「これから検討してみたい」が26%、「興味はある」が35%と、今回のモデル事業をきっかけとして認知し、ポジティブに受け止める動きがみられる。**(右下図ご参考)

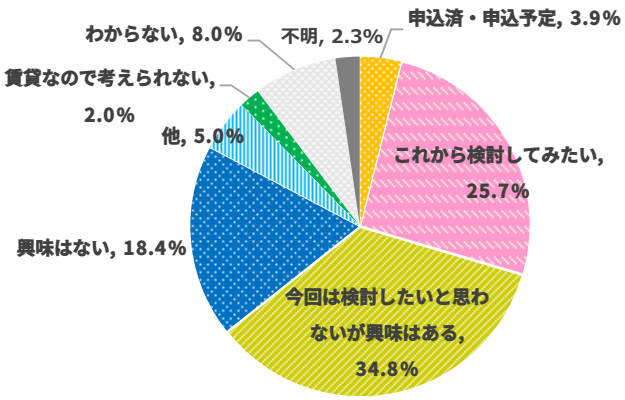
【住宅診断の受診経験】　n＝1,421人



【住宅診断の認知】　n＝1,421人



【住宅診断の受診意向】　n＝1,421人



・モデル事業の住宅診断に「申込」または「検討してみたい」とした方の理由は、
「期間限定で無料だから(49%)」「国によるモデル事業で安心だから(31%)」が上位の回答となっており、「好機」「安心」が後押ししていることがうかがえる。　※「以前から気になっていた」「ちょうど検討していた」はいずれも1割台。

・逆に「検討しない」「興味がない」とした方の理由は、
「必要性を感じない(大きな不安や心配がない等)から(45%)」「過剰な問題の指摘や不必要な提案をされたくないから(33%)」が上位の回答。

・「築20年以上」の居住者に限れば「必要性を感じない(37%)」よりも「過剰な問題の指摘や不必要な提案をされたくない(43%)」が上回り、「診断を受けたらリフォームまでしないといけなくなりそう(36%)」も高い回答率となっている。住宅の不具合に直面する層の**「住宅診断後のステップへの不安感」が躊躇を招いている様子がみられる。**　**※住宅診断後も含めた暮らし全般の総合的な不安を解消するアプローチが必要と想定される。**

■調査実施結果概要　5)リフォームについて

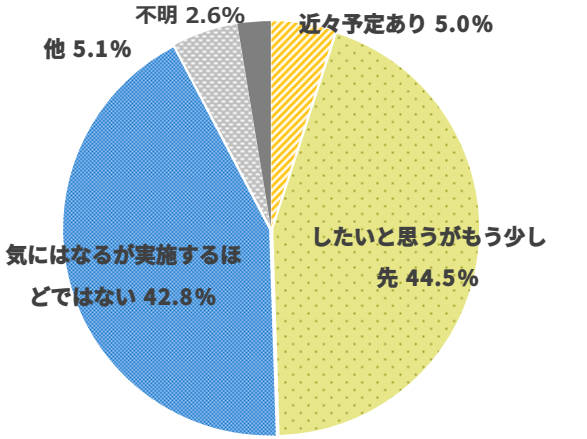
・築20年以上の住宅で「大規模（約100万円以上）な修理・リフォームを実施済」は6割を占めるが、「ほとんど行っていない」も12%存在する。

・住宅に関して「何らかの困り事がある」方は全体の6割強存在し、主な困り事は「外装(外壁、屋根など）の劣化」「住居内の各種設備の老朽化」である。

・困り事がある方のうち、リフォームや修繕を「近々行う予定がある」方は5%に留まる。（右図ご参考）

【リフォーム・修繕の予定、意向】

n＝845人



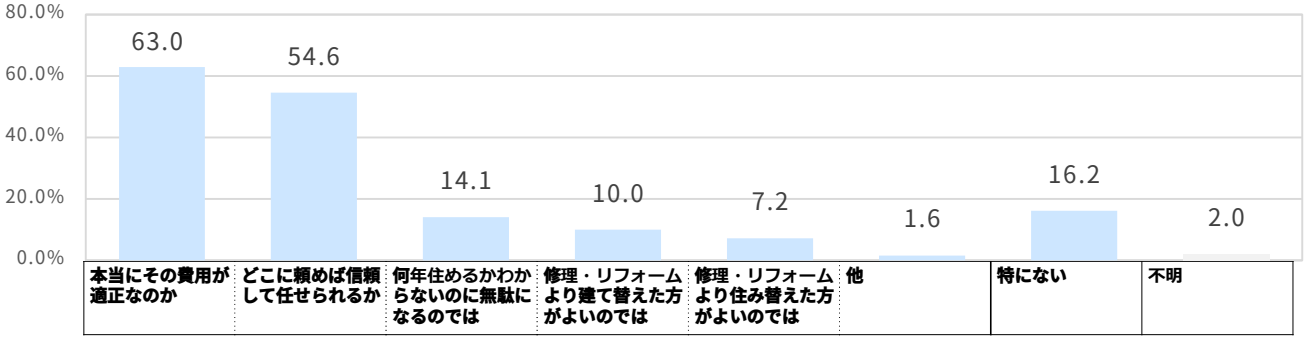
・リフォームそのものに対して「戸惑いや不安が無い」とした方は全体の16%に留まっており、ほとんどの方がリフォームを行うことに何らかの戸惑いや不安を感じている。（下図ご参考）

・過半数を占めた回答は「本当にその費用が適正なのか」「どこに頼めば信頼して任せられるか」であり、「何年住めるか分からないのに無駄になるのでは」「建て替えたほうが良いのでは」「住み替えたほうが良いのでは」は1割前後に留まった。（下図ご参考）

※リフォーム自体をするかどうか（建て替え、住み替えなどとの選択）で迷うのではなく、「費用の適正性」や「業者の信頼性」が躊躇の要因となっている。

【リフォームへの戸惑い、不安】

n＝1,363人



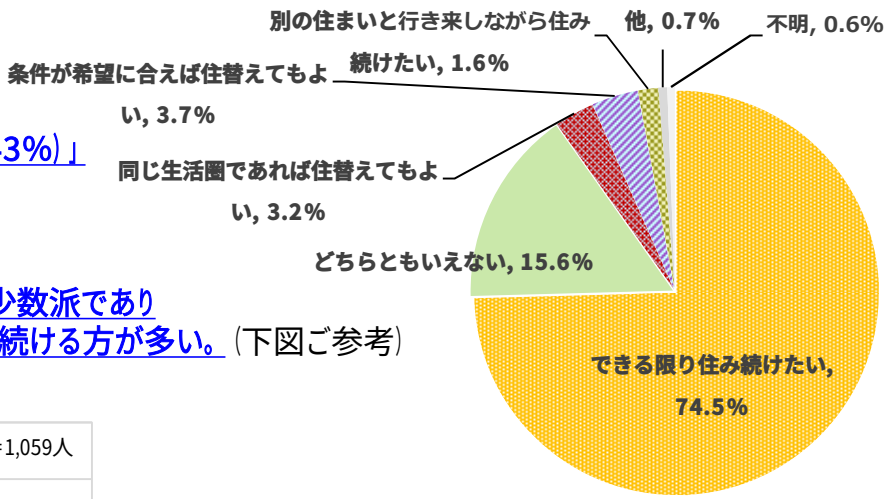
■調査実施結果概要　6)住み替えについて　1／3

・全体の75%が「現在の住まいにできる限り住み続けたい」という意向を持っている（右図ご参考）

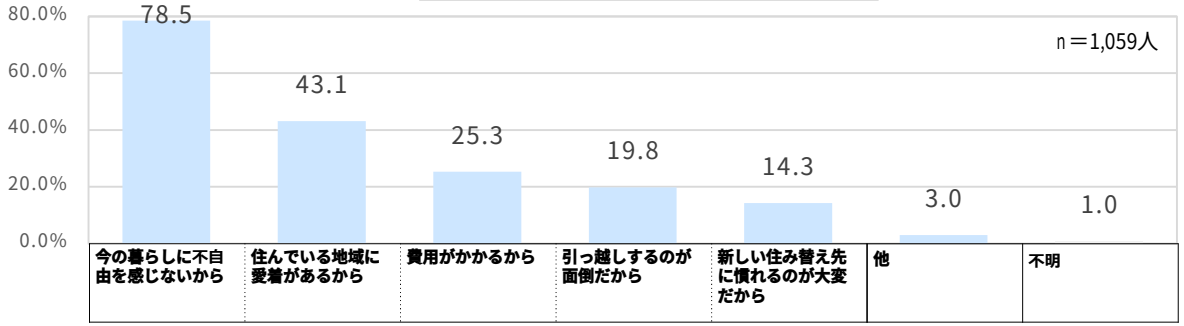
・その理由としては
「今の暮らしに不自由を感じないから（79%）」「住んでいる地域に愛着があるから（43%）」が高い回答となっている。（下図ご参考）

・「費用がかかる（25%）」「引っ越しが面倒（20%）」「慣れるのが大変（14%）」など、
「本当は（もしくは場合によっては）移りたいが、別の原因があって・・・」という理由は少数派であり
「移らなければならないやむを得ない事情やきっかけが無い限り現在の住居に住み続ける方が多い。（下図ご参考）

【住み替えの意向】

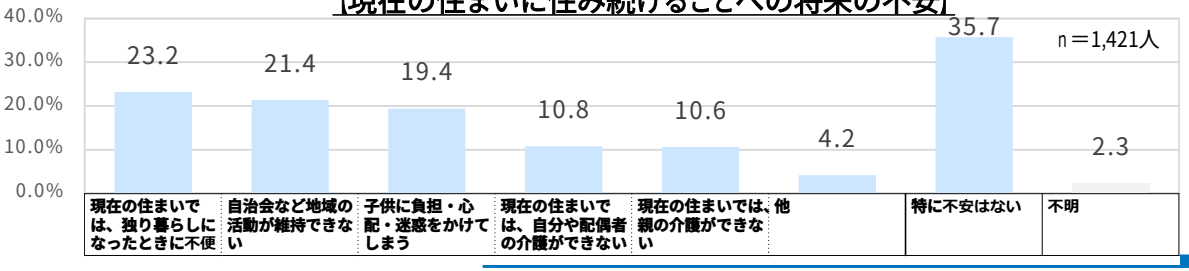


【現在の住まいに住み続けたい理由】



・一方で、現在の住まいにそのまま住み続けることに「何らかの不安を持つ」方は全体の6割強。（下図ご参考）
不安で最も大きいのは「一人暮らしになった時に不便」であり、特に50代以上になると徐々に割合が高まる。

【現在の住まいに住み続けることへの将来の不安】



■調査実施結果概要　6)住み替えについて　2／3

・住み替える場合のイメージは次の通り。

候補地

現在と同じ生活圏	56%
奈良県以外の国内	25%
生駒市内	22%

※60代以上の65%が「現在と同じ生活圏」を希望

立地条件

交通利便性が高い	76%
自然災害が少ない	47%
商業施設などが近くにある	41%

※20～30代は「親や子供が暮らす家の近く」や「子育てしやすい」も高い

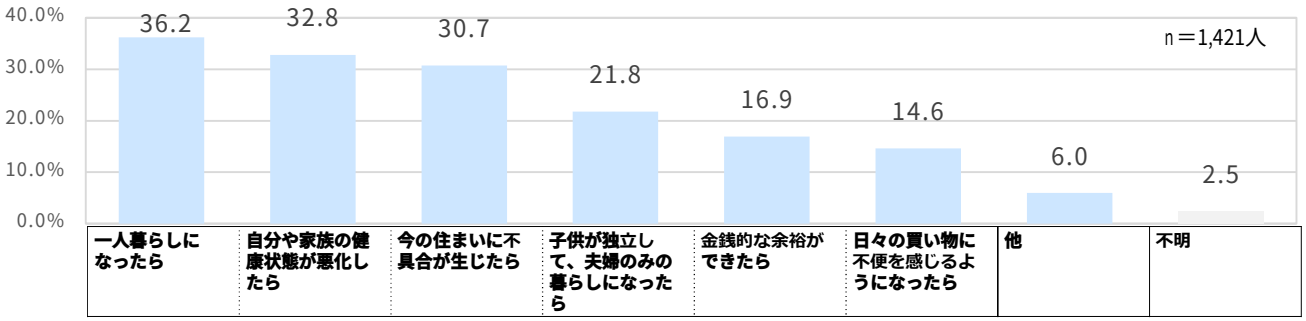
住宅購入上限金額

3,000万円台	35%
2,000万円台	20%
4,000万円台	13%

・**住み替える場合のきっかけとして多いのは、「一人暮らしになったら（36%）」「自分や家族の健康状態が悪化したら（33%）」「今の住まいに不具合が生じたら（31%）」**（下図ご参考）

・**60代以上の一人暮らしの方は、「自分や家族の健康状態が悪化したら」が76%。**

【住み替える場合のきっかけ】



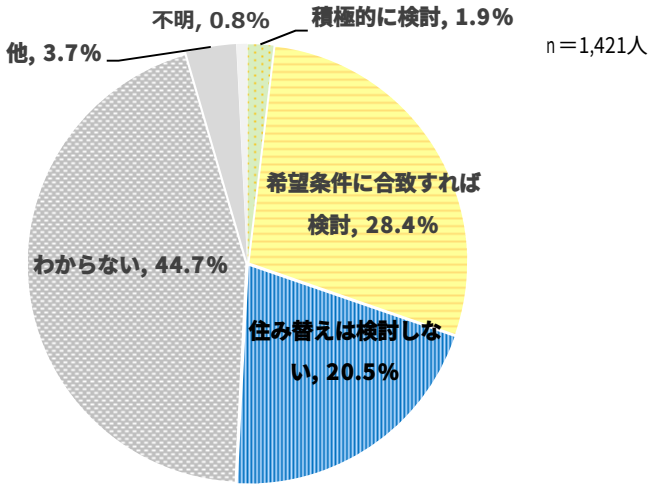
■調査実施結果概要　6)住み替えについて　3／3

・「車で10分程度の場所にシニア向け住宅ができれば住み替えを検討するか」という問いに対して、「わからない」が半数近くを占めた。（右図ご参考）

・「わからない」を除くと、**『「積極的に検討」＋「希望条件に合致すれば検討」』と『検討しない』の割合は3：2で、「検討する」ほうが多い。**（右図ご参考）

・60代以上では「わからない」が下がり、「希望条件に合致すれば検討」が3割強に増える。

【車で10分程度の場所にシニア向け住宅ができたら】



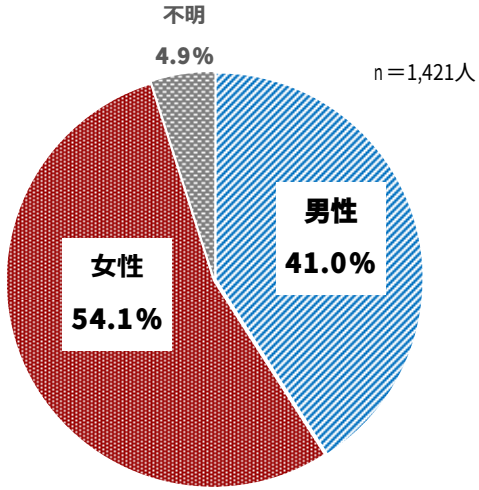
アンケート結果詳細

1)回答者の属性

1.性別と年代(単数回答)[Q34]

[性別]

・「女性」の方が1割程度多い。

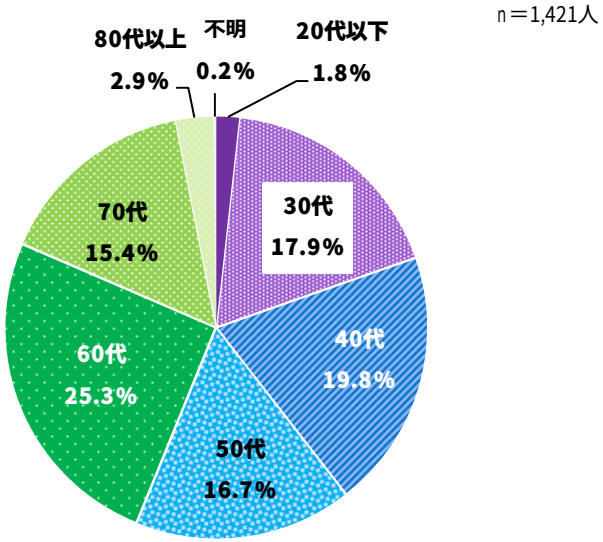


[年代]

・「60代」が少し多く25.3%

「20代以下」1.8%、「80代以上」2.9%が少なくなっており、

それ以外の年齢層は17%前後でほぼ均等。



[年代×性別]

・「男性」は『60～70代』が、「女性」は『30～40代』『60代』が他層より多い。

			20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
全体		1,421人	1.8	17.9	19.8	16.7	25.3	15.4	2.9	0.2
性別	男性	582人	1.0	11.3	16.5	14.1	28.0	24.9	4.0	0.2
	女性	769人	2.3	23.5	22.1	18.6	23.5	7.9	2.0	0.0

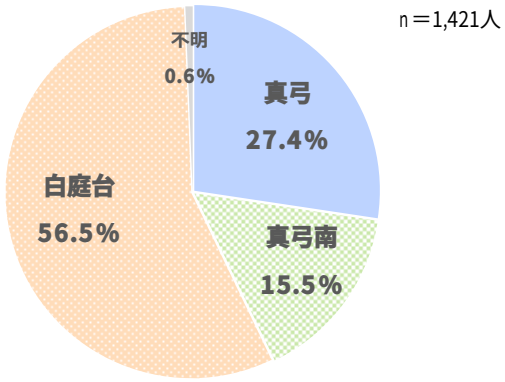
≪ポイント≫

・今回の対象エリアの過半数は50代以上であり、70代以上の高齢者も多いが、20代から40代も一定数存在し、極端に特定世代に偏りがあるわけではない。

2.居住地域(単数回答)[Q36]

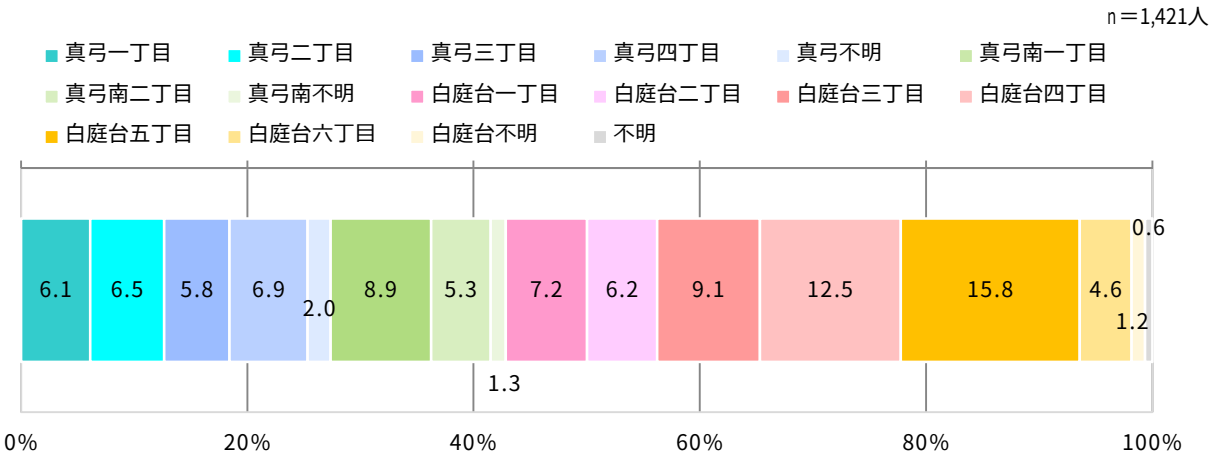
[全体]

・「白庭台」が6割近くを占める。



[全体]

・「白庭台五丁目」が15.8%、「白庭台四丁目」が12.5%と、この2エリアで3割近くを占める。



[年代別]

・『70代～』では「真弓」が半数と多かったが、
それ以外ではどの層も「白庭台」が多い。
特に『20～30代』『40代』の若い世代では「白庭台」が7割以上と多い。

[年代別]

・『70代～』では「真弓二丁目」が17.3%と他層よりも多い。
・『20～30代』の若い世代では、「白庭台五丁目」32.6%、「白庭台四丁目」28.3%と、
この2エリアで6割以上を占める。

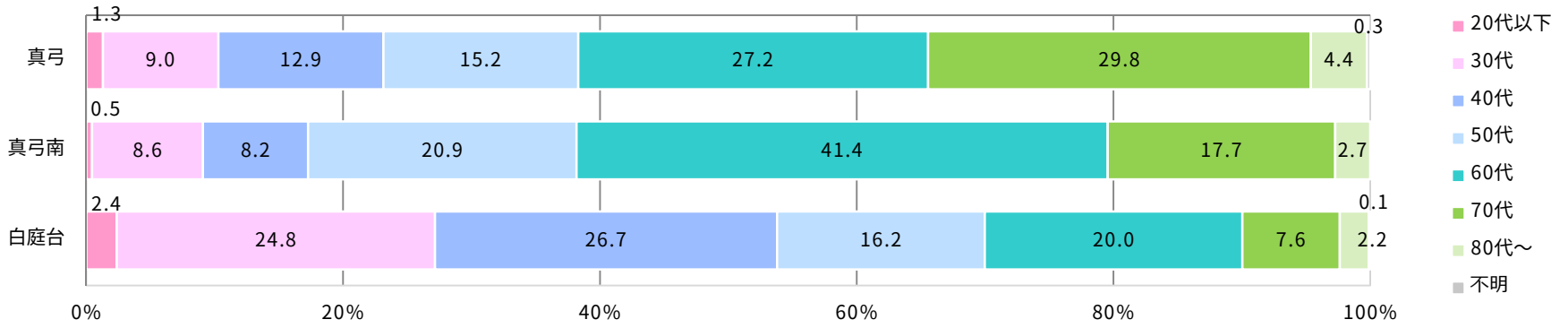
		真弓	真弓南	白庭台	不明
全体	1,421人	27.4	15.5	56.5	0.6
男性	582人	31.6	16.0	51.9	0.5
女性	769人	24.7	15.0	59.7	0.7
20～30代	279人	14.3	7.2	78.1	0.4
40代	282人	17.7	6.4	75.9	0.0
50代	237人	24.9	19.4	54.9	0.8
60代	360人	29.4	25.3	44.7	0.6
70代～	260人	51.2	17.3	30.4	1.2

真弓					真弓南			白庭台							不明
一丁目	二丁目	三丁目	四丁目	不明	一丁目	二丁目	不明	一丁目	二丁目	三丁目	四丁目	五丁目	六丁目	不明	
6.1	6.5	5.8	6.9	2.0	8.9	5.3	1.3	7.2	6.2	9.1	12.5	15.8	4.6	1.2	0.6
6.9	7.7	5.7	9.1	2.2	8.8	6.0	1.2	7.0	5.8	10.0	11.9	11.2	4.8	1.2	0.5
5.7	5.6	6.2	5.2	2.0	9.0	4.6	1.4	6.8	6.2	8.7	13.4	19.4	4.0	1.2	0.7
5.0	1.4	3.6	3.2	1.1	3.9	2.5	0.7	3.6	3.6	5.0	28.3	32.6	3.9	1.1	0.4
5.7	2.1	4.3	5.0	0.7	4.3	2.1	0.0	6.0	2.5	11.3	19.1	24.1	9.9	2.8	0.0
5.1	6.3	5.9	5.1	2.5	9.7	6.8	3.0	8.0	9.7	12.2	7.2	11.0	5.1	1.7	0.8
4.4	6.1	5.3	10.8	2.8	15.3	8.9	1.1	11.9	8.6	10.6	4.2	6.7	2.2	0.6	0.6
11.2	17.3	10.4	9.2	3.1	9.6	5.4	2.3	4.6	6.5	6.2	4.6	6.2	2.3	0.0	1.2

2.居住地域(単数回答)[Q36]

[居住エリア別]

・1973年に住宅分譲開始した真弓・真弓南エリアに高齢世帯、1988年に住宅分譲開始した白庭台エリアに比較的若い世代が居住している。



			20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	不明
全体		1,421人	1.8	17.9	19.8	16.7	25.3	15.4	2.9	0.2
真弓	一丁目	87人	1.1	14.9	18.4	13.8	18.4	29.9	3.4	0.0
	二丁目	93人	1.1	3.2	6.5	16.1	23.7	39.8	8.6	1.1
	三丁目	82人	2.4	9.8	14.6	17.1	23.2	28.0	4.9	0.0
	四丁目	98人	1.0	8.2	14.3	12.2	39.8	22.4	2.0	0.0
	不明	29人	0.0	10.3	6.9	20.7	34.5	27.6	0.0	0.0
真弓南	一丁目	126人	0.8	7.9	9.5	18.3	43.7	16.7	3.2	0.0
	二丁目	75人	0.0	9.3	8.0	21.3	42.7	16.0	2.7	0.0
	不明	19人	0.0	10.5	0.0	36.8	21.1	31.6	0.0	0.0
白庭台	一丁目	102人	1.0	8.8	16.7	18.6	42.2	10.8	1.0	1.0
	二丁目	88人	1.1	10.2	8.0	26.1	35.2	11.4	8.0	0.0
	三丁目	129人	0.8	10.1	24.8	22.5	29.5	10.9	1.6	0.0
	四丁目	177人	5.6	39.0	30.5	9.6	8.5	5.1	1.7	0.0
	五丁目	225人	1.8	38.7	30.2	11.6	10.7	5.3	1.8	0.0
	六丁目	65人	3.1	13.8	43.1	18.5	12.3	7.7	1.5	0.0
	不明	17人	0.0	17.6	47.1	23.5	11.8	0.0	0.0	0.0

2.居住地域(単数回答)[Q36]

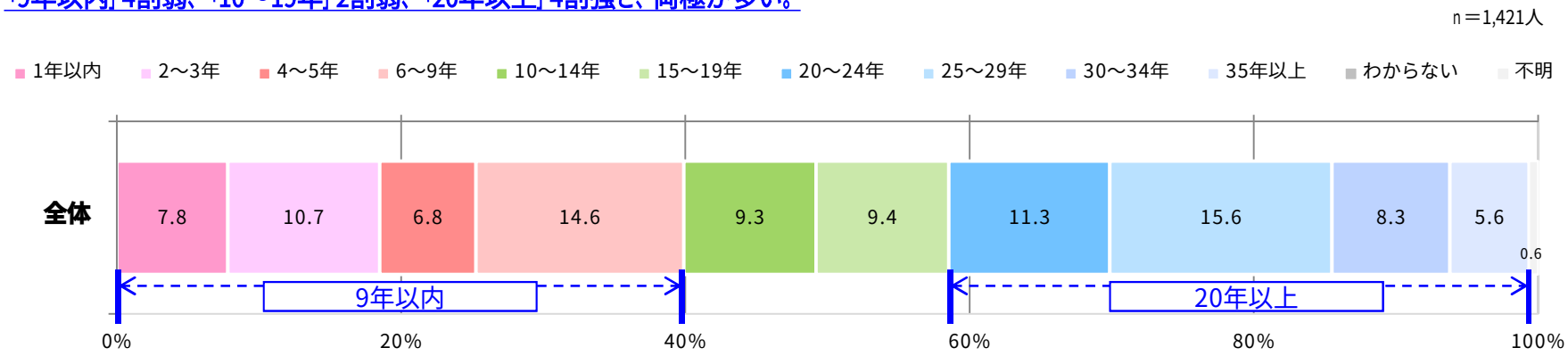
[エリア別]

・真弓2丁目は60代以上の割合が72%を占める。
・その他の真弓エリア、真弓南エリアも60代以上の割合が高い。
・白庭台1～2丁目も60代以上が過半数。
・逆に、白庭台3～6丁目は若い世代が多く居住する。
・特に白庭台4～5丁目の4割強が30代以下。

3.地域居住年数(数字記入)[Q16]

[全体]

・「9年以内」4割弱、「10～19年」2割弱、「20年以上」4割強と、両極が多い。



[年代別]

・『20～30代』・・・「3年以内」が53%。「9年以内」では71%を占める。

・『60代』・・・「20年以上」が68%、「30年以上」が20%を占める。

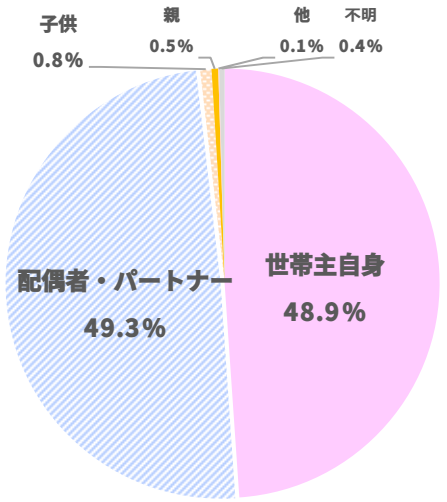
・『70代～』・・・「20年以上」が77%、「30年以上」が38%を占める。

		1年以内	2～3年	4～5年	6～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35年以上	不明
全体	1,421人	7.8	10.7	6.8	14.6	9.3	9.4	11.3	15.6	8.3	5.6	0.6
男性	582人	6.9	8.9	6.7	11.0	7.7	10.0	10.0	17.7	12.9	7.6	0.7
女性	769人	8.8	12.1	7.2	17.0	11.1	8.8	11.3	14.0	4.8	4.3	0.5
20～30代	279人	25.1	28.0	14.7	21.5	4.7	1.8	0.0	1.8	1.4	0.7	0.4
40代	282人	8.2	15.2	9.9	29.1	19.1	8.5	2.5	2.8	2.8	0.4	1.4
50代	237人	4.2	5.1	3.4	12.2	13.9	15.6	22.4	17.3	2.1	3.0	0.8
60代	360人	0.8	3.6	2.2	7.8	5.3	11.7	17.8	30.6	13.9	6.1	0.3
70代～	260人	1.9	2.3	4.2	3.5	5.0	9.6	13.8	21.5	19.6	18.1	0.4

4.回答者の世帯主から見た関係(単数回答)[Q35]

[全体]

・「世帯主」「配偶者・パートナー」のどちらかが回答しており、
割合はほぼ半々となった。



n＝1,421人

[年代別]

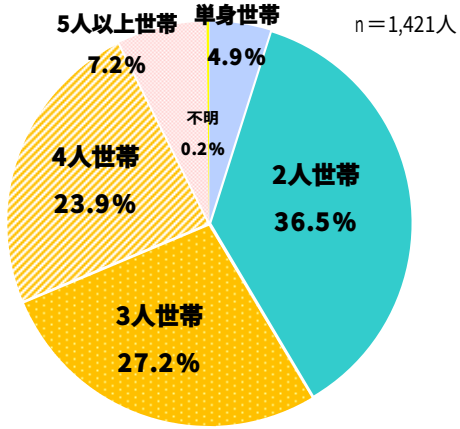
・「配偶者・パートナー」は年代が低いほど多く、年代が高くなるほど少なくなる。
※若い世代では「奥様が回答しているケースが多かった」と想定される。

		世帯主自身	配偶者・パートナー	子供	親	他	不明
全体	1,421人	48.9	49.3	0.8	0.5	0.1	0.4
男性	582人	97.4	1.7	0.3	0.3	0.0	0.2
女性	769人	11.7	86.0	1.2	0.7	0.1	0.4
20～30代	279人	28.7	69.5	1.1	0.4	0.4	0.0
40代	282人	39.7	58.9	1.1	0.0	0.0	0.4
50代	237人	40.5	57.0	1.3	0.8	0.0	0.4
60代	360人	54.2	44.7	0.3	0.6	0.0	0.3
70代～	260人	81.2	16.5	0.8	0.8	0.0	0.8

5.同居の人数(数字記入)[Q30]

[全体]

・「単身世帯」4.9%、「2人世帯」36.5%。「2人以下」の少人数世帯が4割強を占める。



[年代別]

・『20～40代』は、8割以上が「3人以上の世帯」となる。
・『50代』で、「2人世帯」が増え始める。
・『60代』『70代～』では、「2人世帯」が最も多いが、3人以上の世帯も相当数存在する。
・単身世帯は『70代～』で12%に増える。

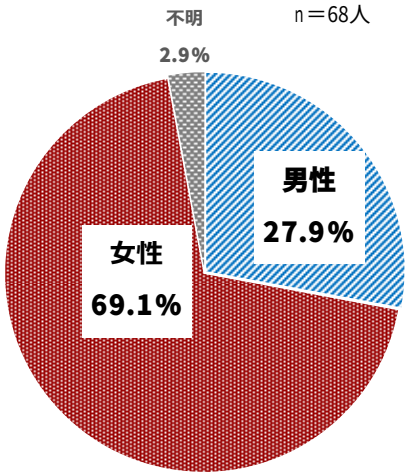
		単身世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上世帯	不明
全体	1,421人	4.8	36.7	27.2	23.9	7.2	0.2
男性	582人	3.3	46.7	23.9	19.4	6.7	0.0
女性	769人	6.1	28.7	30.0	27.2	7.8	0.1
20～30代	279人	2.5	13.6	33.7	39.8	10.4	0.0
40代	282人	3.2	11.7	24.5	48.2	12.4	0.0
50代	237人	1.3	30.0	34.2	27.0	7.6	0.0
60代	360人	4.7	58.9	26.9	6.7	2.8	0.0
70代～	260人	12.3	63.5	17.3	1.5	4.2	1.2

≪ポイント≫
・「20～40代」はほとんどが子育て世帯と想定される。
・子供が独立し、世帯人数が減少し始めるのが「50代」。
・ただし、「60代以上」でも子供と同居する世帯も一定数存在する。

6.単身世帯の性別･年代 (単数回答) [Q30]

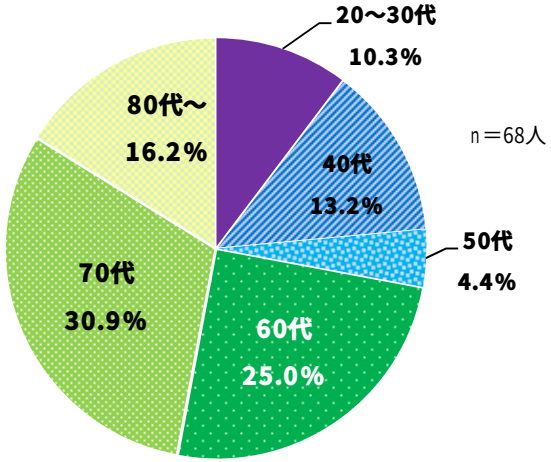
[性別]

･単身世帯は「女性」が7割を占める。



[年代別]

･単身世帯のうち、『60代以上』が7割強(49人)を占める。



7.子供の同居有無（複数回答）[Q32]

[年代別]

『20～30代』・・・**83%が子供と同居。**「子供がいない」世帯は16%。

『40代』・・・**86%が子供と同居。**「子供がいない」世帯は12%。

『50代』・・・65%が子供と同居。**独立した子供がいる割合は26%（※）。**

『60代』・・・34%が子供と同居。**独立した子供がいる割合は60%（※）。**

「車で1時間以内に子供が居住している割合」は35%。

『70代～』・・・26%が子供と同居。**独立した子供がいる割合は70%（※）。**

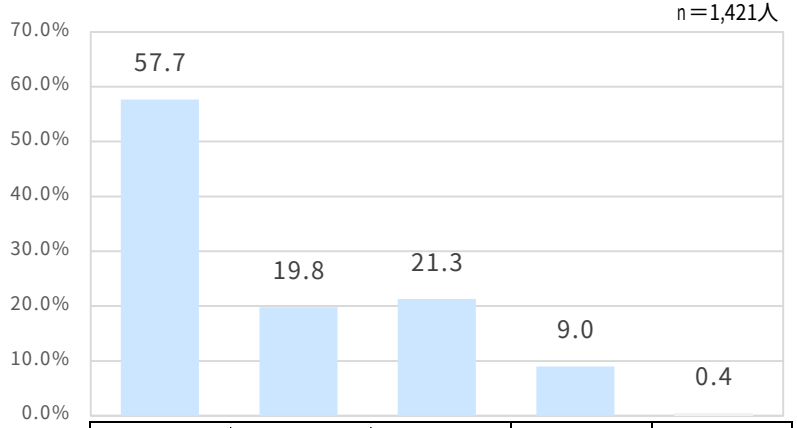
「車で1時間以内に子供が居住している割合」は44%。

『単身60代～』・・・**「子供はいるが離れて居住」が41%で、**

「子供がいない（16%）」を合わせると57%が近隣に家族がいない。

（※）全体から「同居」「子供はいない」「不明」を差引して算出

n＝1,421人



		同居	同居していないが車で１時間以内に居住	同居しておらず離れて居住	子供はいない	不明
全体	1,421人	57.7	19.8	21.3	9.0	0.4
男性	582人	48.6	23.5	27.5	9.3	0.0
女性	769人	64.8	16.8	16.8	9.4	0.3
20～30代	279人	83.2	0.4	0.4	16.1	0.4
40代	282人	85.8	1.4	1.1	12.4	0.0
50代	237人	65.4	15.6	27.0	8.4	0.4
60代	360人	34.4	35.0	40.8	5.3	0.0
70代～	260人	25.8	43.8	33.5	3.5	0.8
単身60代～	49人	0.0	44.9	40.8	16.3	0.0

≪ポイント≫

・60代以上では、「子供と同居」「子供が近隣に居住」「子供が離れて居住」が、3～4割ずつ存在する。
（複数の子供がいる場合複数回答）

⇒「子育て世帯」として一括りにしやすい「20～40代」に比べ、個々の世帯によって家庭環境や悩みが多様（個別性が強い）と想定される。

8.親の同居有無（複数回答）[Q33]

[年代別]

『20～30代』・・・「近隣に親が居住（車で1時間以内）」が66%。

『40代』・・・「近隣に親が居住（車で1時間以内）」が60%。

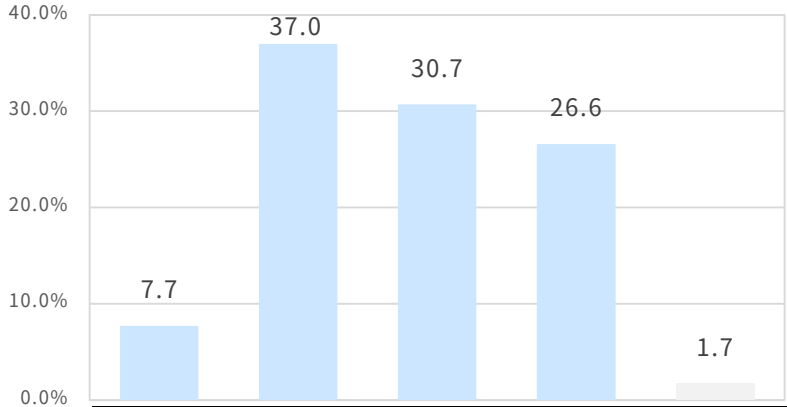
『50代』・・・「親はいない」が9%。**「同居」が16%と他の年齢層と比較して最も高い。**
「非同居の親がいる」割合は75%。

『60代』・・・**「親はいない」が最も多く43%。「同居」は6%に留まる。**
「非同居の親がいる」割合は49%。

『70代～』・・・**「親はいない」が最も多く75%。「同居」は5%。**
「非同居の親がいる」割合は15%。

『単身60代～』・・・**「親はいない」が69%。**
「非同居の親がいる」割合は22%。

n＝1,421人



		同居	同居していないが車で１時間以内に居住	同居しておらず離れて居住	親はいない	不明
全体	1,421人	7.7	37.0	30.7	26.6	1.7
男性	582人	5.7	29.7	27.8	37.3	1.5
女性	769人	9.4	43.2	32.5	18.6	1.6
20～30代	279人	6.1	66.3	34.1	1.1	0.7
40代	282人	7.1	60.3	36.9	1.8	0.0
50代	237人	15.6	37.1	42.2	8.9	0.0
60代	360人	6.1	16.9	32.8	43.1	1.7
70代～	260人	4.6	8.5	7.3	74.6	5.4
単身60代～	49人	0.0	10.2	12.2	69.4	8.2

≪ポイント≫
・70代でも、「親がいる」が20%（同居5%、非同居15%）存在する。
・60代だと、「親がいる」は55%（同居6%、非同居49%）。
⇒この年代においても「親の介護」が大きな課題となる。

9.同一家計世帯内で働いている人 (複数回答) [Q31]

[年代別]

『20～30代』・・・**「配偶者が働いている」は45%。**

『40代』・・・**「配偶者が働いている」は42%。**

『50代』・・・**「配偶者が働いている」は35%。**

「子供が働いている」が35%に増える。

『60代』・・・「働いている人がいない」(36%) よりも、

「世帯主が働いている (43%) 」のほうが多い。

※配偶者も16%が働いている。

『70代』・・・「働いている人がいない」が84%を占めるが、

「世帯主が働いている (14%) 」が存在する。

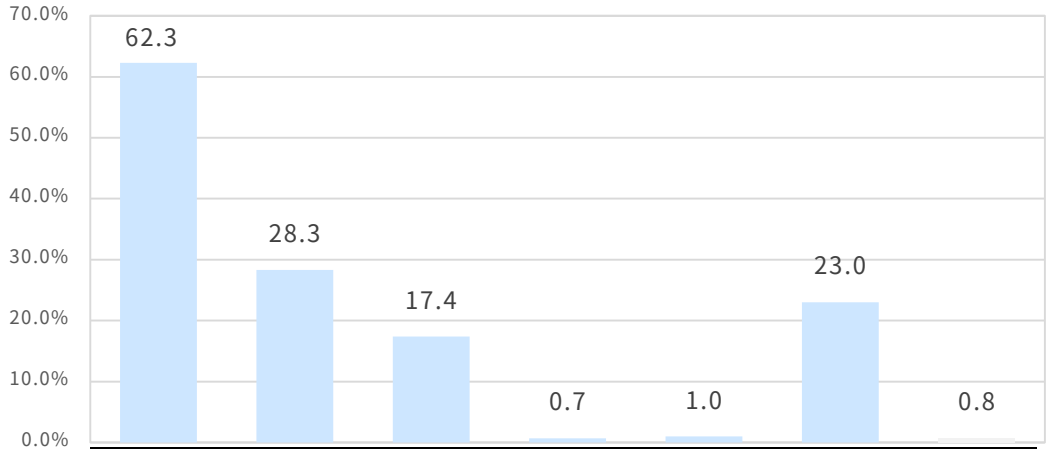
※配偶者も6%が働いている。

『単身60代～』・・・「働いてない」が84%を占めるが、

「働いている」も14%存在する。

≪ポイント≫
・「20～40代 (子育て世帯) 」の4割超が共働き世帯と想定される。
⇒子育て支援に関するインフラ整備ニーズは高いと予想される。
・高齢世代でも「働いている」層が一定程度存在する。

n＝1,421人



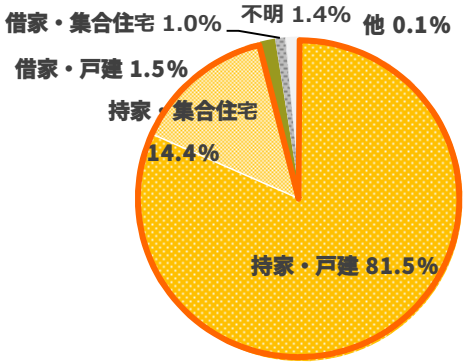
		世帯主	配偶者・パートナー	子供	親	他	いない	不明
全体	1,421人	62.3	28.3	17.4	0.7	1.0	23.0	0.8
男性	582人	51.0	27.5	17.9	0.3	0.7	30.6	0.3
女性	769人	71.4	28.3	16.8	1.0	1.2	17.8	0.8
20～30代	279人	88.5	44.8	2.9	1.8	1.4	1.8	0.4
40代	282人	86.9	42.2	3.2	0.0	0.4	5.0	1.1
50代	237人	84.0	34.6	35.0	1.7	0.0	5.9	0.8
60代	360人	43.3	16.4	27.2	0.0	0.8	35.8	0.3
70代～	260人	13.8	6.2	18.8	0.4	2.3	63.5	1.2
単身60代～	49人	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	83.7	2.0

2)住居の状況について

1.住居形態(単数回答)[Q10]

[全体]

・「持家・戸建」が82%と圧倒的に多い。次いで、「持家・集合住宅」が14%で続き、このエリアでは「持家」が96%を占める。



n＝1,421人

[年代別]

・『50代以上』は約9割が「持家・戸建」に居住している。

・『20～30代』の37%、『40代』の19%は「持家・集合住宅」に居住。

・『単身60代～』の18%も「持家・集合住宅」に居住。(利便性の高いマンションへ住み替えた層と想定)

		持家・戸建	持家・集合住宅	借家・戸建	借家・集合住宅	他	不明
全体	1,421人	81.5	14.4	1.5	1.0	0.1	1.4
男性	582人	84.4	11.7	0.3	1.0	0.2	2.4
女性	769人	78.3	17.2	2.6	1.0	0.1	0.8
20～30代	279人	57.0	36.9	2.5	2.2	0.4	1.1
40代	282人	75.5	19.1	2.5	1.8	0.0	1.1
50代	237人	89.9	7.2	2.1	0.4	0.4	0.0
60代	360人	93.3	3.6	0.8	0.6	0.0	1.7
70代～	260人	90.4	6.9	0.0	0.0	0.0	2.7
単身60代～	49人	77.6	18.4	0.0	0.0	0.0	4.1

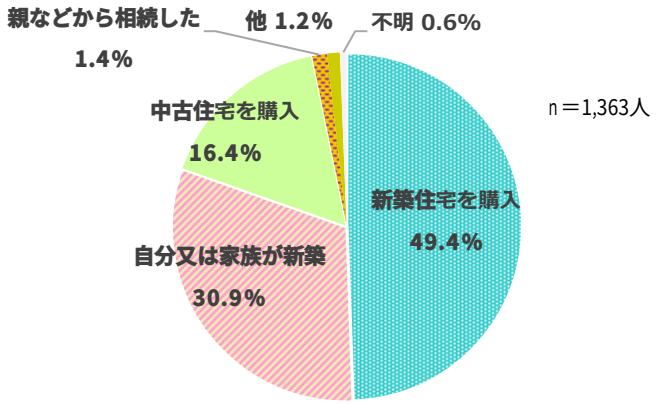
≪ポイント≫
・「20～40代(子育て世帯)」には、近年に分譲された新築マンションを購入した層が存在する。

2.住居取得方法(持家居住者:単数回答)[Q11]

[全体]

・「新築」に入居が80%であり、「中古」に入居は16%に留まる。

・「相続」はほとんど無い。



[年代別]

・「中古」は年代が若いほど多く、「20～30代」では23%と最も高い。

・『20～30代』で「新築住宅を購入」が他層に比べて高いのは、集合住宅の購入が多い為と推察される。

		新築住宅を購入	自分又は家族が新築	中古住宅を購入	親などから相続	他	不明
全体	1,363人	49.4	30.9	16.4	1.4	1.2	0.6
男性	559人	51.0	32.4	13.4	1.4	1.4	0.4
女性	734人	48.1	29.7	19.1	1.4	1.1	0.7
20～30代	262人	61.1	13.0	22.9	1.1	1.1	0.8
40代	267人	50.2	27.0	19.1	3.0	0.7	0.0
50代	230人	45.7	33.9	17.4	2.2	0.0	0.9
60代	349人	47.0	37.2	13.8	0.6	1.4	0.0
70代～	253人	43.5	41.9	9.9	0.4	2.8	1.6
単身60代～	49人	48.9	40.4	6.4	0.0	2.1	2.1

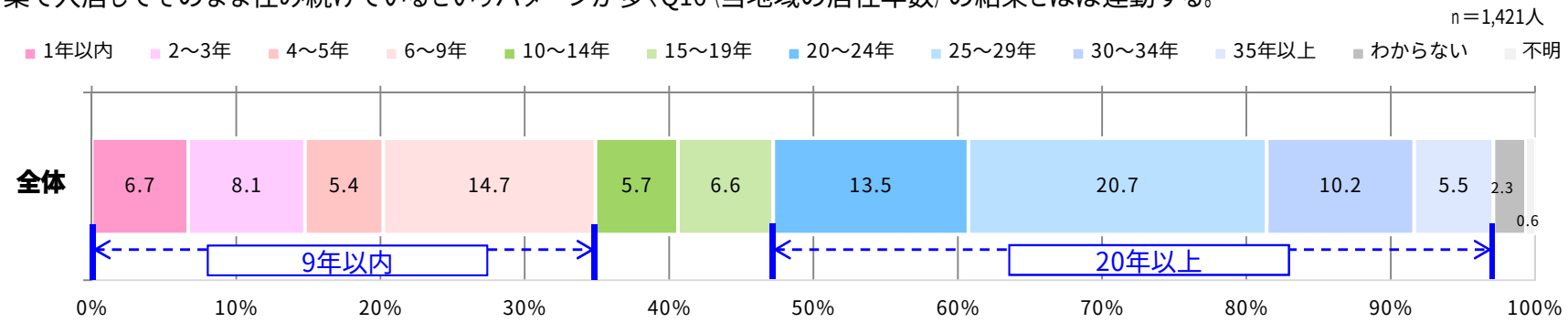
≪ポイント≫

「中古住宅」に抵抗の無い若い層が、子育て環境の良いエリアに中古住宅を購入して移り住むという流れがうかがえる。

3.築年数(数字記入)[Q29]

[全体]

・新築で入居してそのまま住み続けているというパターンが多く Q16（当地域の居住年数）の結果とほぼ連動する。



[年代別]

・「9年以内」は、『20～30代』で71%、『40代』で57%を占める。 一方、「20年以上」は『60代』『70代～』で7割以上、『50代』で6割弱。

[住居形態別]

・『集合住宅』は殆ど「9年以内」。逆に、『戸建住宅』は「20年以上」が6割弱。

		1年以内	2～3年	4～5年	6～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35年以上	わからない	不明	9年以内	20年以上
全体	1,421人	6.7	8.1	5.4	14.7	5.7	6.6	13.5	20.7	10.2	5.5	2.3	0.6	34.9	49.9
男性	582人	6.5	6.7	5.7	11.9	5.0	7.2	13.1	21.1	12.4	7.7	2.4	0.3	30.8	54.3
女性	769人	7.0	9.1	5.6	16.9	6.6	6.1	12.6	20.3	8.8	3.8	2.3	0.8	38.6	45.5
20～30代	279人	20.8	18.6	11.5	20.4	3.6	3.2	4.3	8.2	3.9	1.4	3.9	0.0	71.3	17.8
40代	282人	5.3	13.8	7.8	29.8	11.7	6.0	6.4	10.3	4.6	1.1	2.1	1.1	56.7	22.4
50代	237人	4.2	4.2	2.1	12.7	5.5	10.1	21.1	25.7	5.9	4.2	3.0	1.3	23.2	56.9
60代	360人	1.7	1.9	2.5	7.8	4.7	7.2	19.7	33.3	15.0	4.4	1.1	0.6	13.9	72.4
70代～	260人	2.3	1.9	3.5	3.8	3.1	6.9	15.4	23.5	20.4	17.3	1.5	0.4	11.5	76.6
戸建住宅	1180人	4.3	5.3	3.9	10.6	6.8	7.6	15.8	24.4	12.0	6.4	2.1	0.8	24.1	58.6
集合住宅	219人	19.6	21.9	14.2	37.4	0.5	0.5	1.8	0.9	0.5	0.0	2.7	0.0	93.2	3.2

3)暮らしについて

1.暮らしの中で感じる不安・不便なこと(複数回答)［Q1］

[全体]

・高いもの(30%以上)は、「地震等の自然災害の発生」「自分や配偶者の健康」であるが、「自然災害」を除くと、年代によって大きく異なる。

[年代別]

・**「自分や配偶者の健康」は『60代以上』、「親の健康」は『40～50代』、「子供の教育や将来」は『20～30代』『40代』で高くなった。**

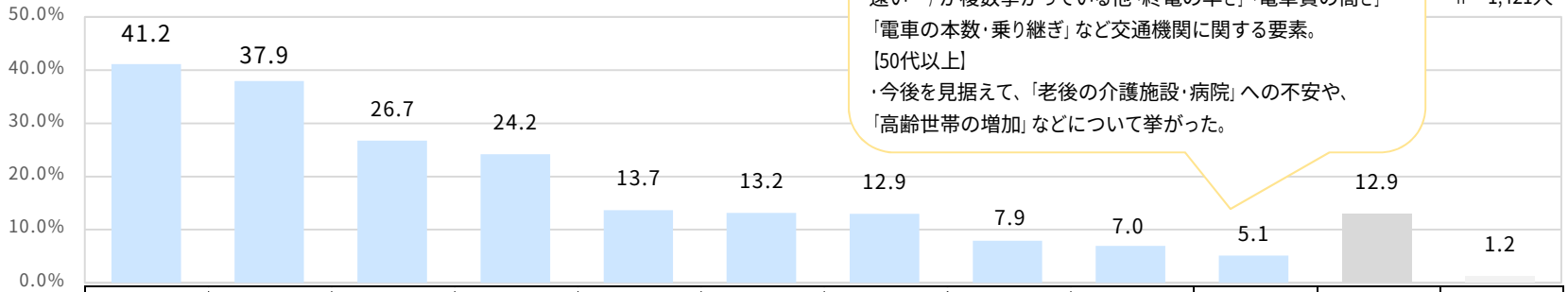
・「住宅の不具合」は、大きな差ではないが『50代』(18.6%)が少し他層より高い。

[単身60代～]

・**「食料品の買い物」「自家用車や公共交通機関による外出」が他層より少し高い。**

≪その他自由回答≫
【20～40代】
・子供に関する要素（学校・保育園が少ない、小児科が少ない・遠い・・）が複数挙がっている他「終電の早さ」「電車賃の高さ」「電車の本数・乗り継ぎ」など交通機関に関する要素。
【50代以上】
・今後を見据えて、「老後の介護施設・病院」への不安や、「高齢世帯の増加」などについて挙がった。

n＝1,421人



		地震等の自然災害の発生	自分や配偶者の健康	親の健康	子供の教育や将来のこと	治安の悪化	住宅の不具合	食料品等の買い物	気軽に相談できる身近な相手や集まり	自家用車や公共交通機関による外出	他	特にない	不明
全体	1,421人	41.2	37.9	26.7	24.2	13.7	13.2	12.9	7.9	7.0	5.1	12.9	1.2
男性	582人	32.6	44.3	22.9	17.2	13.2	11.9	10.5	8.1	3.8	5.8	15.1	1.7
女性	769人	46.9	32.6	29.3	29.0	13.7	13.3	14.6	7.7	9.1	4.7	11.2	0.9
20～30代	279人	38.0	21.1	27.2	45.9	16.5	12.2	22.2	7.9	7.5	9.0	11.1	0.0
40代	282人	37.6	28.7	40.4	41.5	15.2	13.8	13.8	7.8	7.8	4.6	10.6	0.4
50代	237人	47.3	36.7	46.4	23.6	12.7	18.6	10.5	6.3	9.7	5.5	8.9	0.4
60代	360人	44.7	48.1	20.3	8.3	13.6	12.8	6.1	8.3	4.7	4.2	15.0	2.2
70代～	260人	38.1	53.1	2.3	4.6	9.6	8.8	13.8	8.8	6.2	2.7	16.9	2.3
単身60代～	49人	44.9	38.8	6.1	4.1	6.1	6.1	18.4	6.1	12.2	2.0	16.3	6.1

2.暮らしの中でもっと手軽に入手したい情報(複数回答)[Q2]

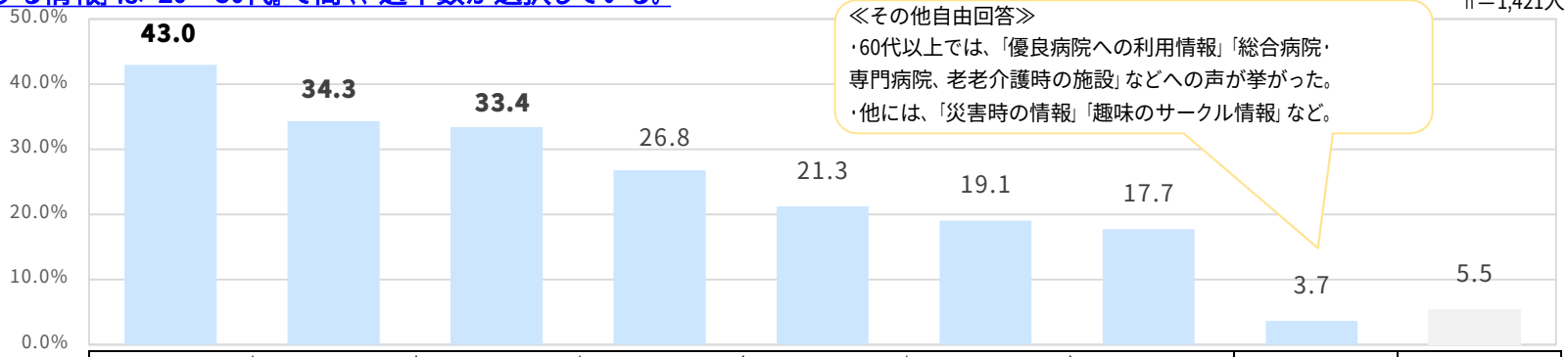
[全体]

・高いもの(30%以上)は、「突発的な困り事の相談窓口・支援情報」「地域のお店のお得情報」「健康情報」。

[年代別]

- 「突発的な困り事の相談窓口・支援情報」は『40代以上』で急に高まる（40代より上の年代では、年代間の差がない）。
  ※『20～30代』は、実家（親）が受け皿になっていることも一因と推察される。
- 「地域のお店のお得情報」は『40代以下』で高く、『50代以上』になると「健康情報」の方が高くなる。
- 「子育てに関する情報」は『20～30代』で高く、過半数が選択している。

n＝1,421人



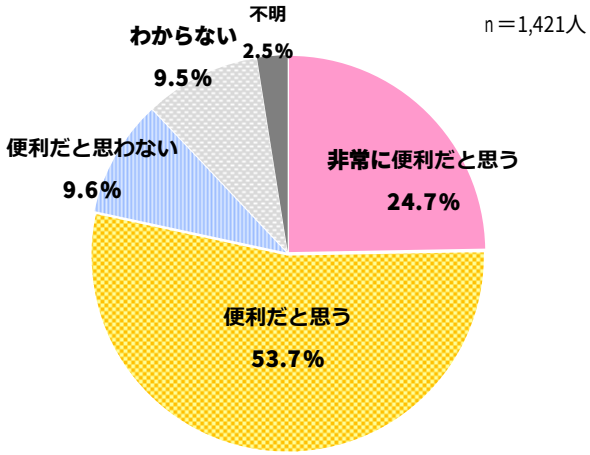
≪その他自由回答≫
・60代以上では、「優良病院への利用情報」「総合病院・専門病院、老老介護時の施設」などへの声が挙がった。
・他には、「災害時の情報」「趣味のサークル情報」など。

		災害や急病・事故・けが、隣人トラブルなど突発的な困り事が起こった時の相談窓口、支援に関する情報	地域のお店のお得情報	健康に関する情報	暮らし、生活全般（家事、買い物、住宅など）のちょっとした知恵	生駒市や自治会からのお知らせ情報	地域のイベント・集まりに関する情報	子育てに関する情報	他	不明
全体	1,421人	43.0	34.3	33.4	26.8	21.3	19.1	17.7	3.7	5.5
男性	582人	43.3	31.3	33.0	24.9	23.7	21.1	13.7	3.8	5.7
女性	769人	42.8	36.4	32.5	28.2	19.6	17.8	21.2	3.4	5.6
20～30代	279人	24.0	50.9	21.1	18.6	16.8	24.4	56.6	2.2	3.6
40代	282人	45.7	42.9	30.1	27.3	22.0	14.9	25.5	1.4	3.5
50代	237人	49.8	32.9	35.9	35.0	23.2	15.6	4.2	3.4	3.4
60代	360人	49.7	26.9	37.5	27.5	20.0	22.5	1.4	5.6	6.4
70代～	260人	45.0	19.2	41.9	26.2	25.4	16.5	2.3	5.4	10.0
単身60代～	49人	40.8	24.5	42.9	34.7	32.7	20.4	2.0	4.1	10.2

3. 最寄駅で暮らしの情報が入手できるようになれば便利と感じるか(単数回答)[Q3]

[全体]

・**「非常に便利＋便利だと思う」で合わせて8割弱。**「便利だと思わない」は9.6%と少ない。



[年代別]

・どの層も、「便利だと思う」が半数近くを占めている。

・**特に、『40代以下』では、「非常に便利だと思う」も3割以上と高い。**

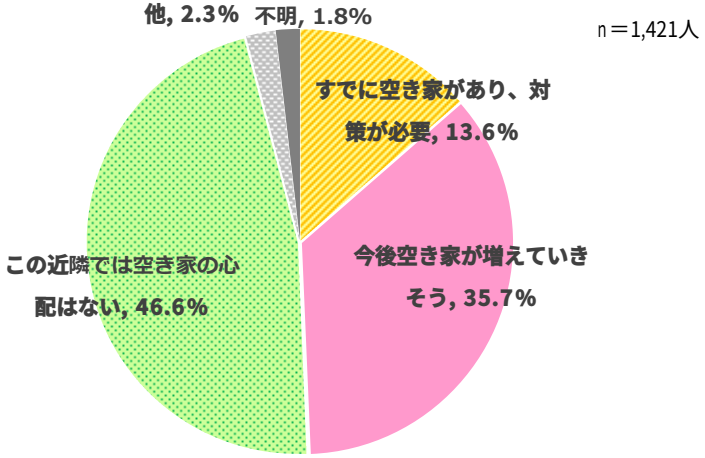
※『50代以上』では、「便利だと思わない」が増える訳ではなく、「わからない」がやや増える。

		非常に便利だと思う	便利だと思う	便利だと思わない	わからない	不明
全体	1,421人	24.7	53.6	9.6	9.5	2.5
男性	582人	23.2	54.6	9.3	9.6	3.3
女性	769人	24.7	53.2	10.3	10.1	1.7
20～30代	279人	31.9	55.9	7.9	3.9	0.4
40代	282人	34.4	47.5	8.5	8.9	0.7
50代	237人	19.8	54.9	11.8	11.4	2.1
60代	360人	20.3	55.3	10.8	10.6	3.1
70代～	260人	16.5	55.0	9.2	13.1	6.2
単身60代～	49人	22.4	51.0	6.1	12.2	8.2

4. 近隣の空き家に対する意識(単数回答)[Q4]

[全体]

・「心配はしていない」が半数近くと多い。「対策が必要」は1割強と少なかった。



「他」回答

Q4自由回答	年齢	性別	居住地
地域差がかなり大きい。	30代	男性	白庭台
更地となれば、固定資産税が高くなることが予想され、致し方ない。	30代	男性	白庭台
母と私が高齢のため専門の方と相談している。	30代	男性	白庭台
空き地の草は虫や草丈が長くなると、治安が悪くなる。	30代	-	白庭台
自分の近隣では心配していないが、地域として対策が必要だとは思う。	40代	女性	白庭台
子育てが終わり、20～30年後には増えるかもしれない。	40代	女性	白庭台
新たな宅地造成は自然破壊も起こすので、空き家を利用して欲しい。	40代	女性	白庭台
自分にも義理の親が住んでいた空き家があり、どうしようか悩んでいる。	40代	女性	白庭台
白庭台の住宅周辺は新しい住宅地なので、現在は心配していない。	40代	-	白庭台
近隣にはないが、近隣に関係なく他地域にはあるので対策は必要。	50代	女性	白庭台
レンタル活用を推進して欲しい。 但し自治会に入会し、町の一員である活動は期待したい。	60代	女性	真弓南
貸家で管理の悪い家がある。	70代	男性	真弓
税法が変わらないと、変化はない。	70代	女性	真弓

[年代別]

・どの世代でも「心配はしていない」が高い(特に若い世代)。

[地域別]

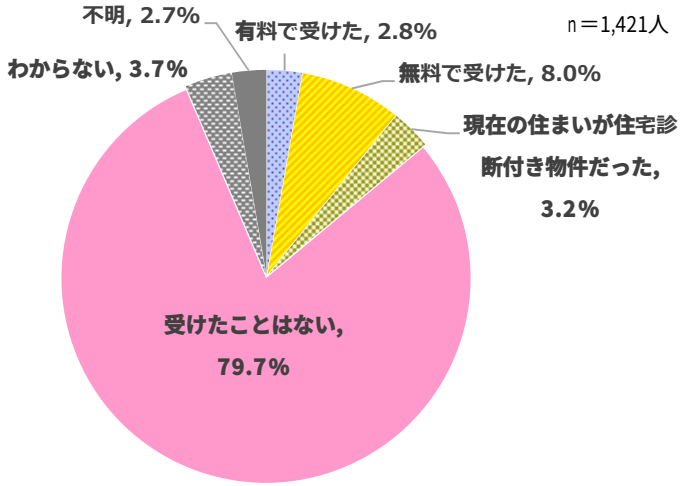
・「真弓」では、他のエリアに比べて「対策が必要(25%)」「空き家が増えていく懸念(45%)」と懸念する声が多い。

		すでに空き家があり対策が必要	今後空き家は増えていく懸念あり	この近隣では空き家の心配はない	他	不明
全体	1,421人	13.6	35.7	46.6	2.3	1.8
男性	582人	13.6	42.3	39.9	1.7	2.6
女性	769人	13.8	30.6	51.8	2.5	1.4
20～30代	279人	10.0	31.9	54.8	2.5	0.7
40代	282人	9.9	34.8	53.2	1.8	0.4
50代	237人	15.6	37.1	43.9	2.5	0.8
60代	360人	16.1	38.1	41.7	2.2	1.9
70代～	260人	16.2	36.2	40.4	2.3	5.0
真弓	389人	24.7	44.5	27.0	1.5	2.3
真弓南	220人	14.1	42.3	40.9	1.4	1.4
白庭台	803人	8.0	29.8	57.8	2.9	1.6

≪ポイント≫
・開発後期間が経過しているエリアから徐々に空き家への懸念が広がりつつあることがうかがえる。

4)住宅診断について

1.「住宅診断」の受診経験(単数回答)[Q6]



[全体]

・「受けたことはない」が8割。

「受けた」人は1割だが、その大半が「無料受診」であり、
「有料受診」の経験があるのはごく少数。

※「無料受診」には住宅建築会社の無料点検も含む。

[年代別]

・どの層も「受けたことがない」が7割以上と高い。(『60代以上』では、「受けたことがある」が1割と少し他層よりは高い)

[築年数別]

・どの層も「受けたことがない」が7割以上と高い。(『築10年以上』では、「受けたことがある」が15%と少し高い)

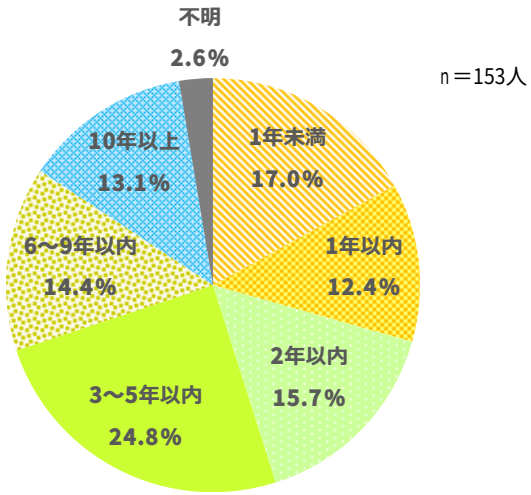
		有料で受けたことがある	無料で受けたことがある	現在の住まいが住宅診断付き物件	受けたことはない	わからない	不明	受けたことがある(有料＋無料)
全体	1,421人	2.8	8.0	3.2	79.7	3.7	2.7	10.8
男性	582人	2.2	10.0	2.7	80.2	2.2	2.6	12.2
女性	769人	3.3	6.5	3.0	79.5	4.8	3.0	9.8
20～30代	279人	3.2	3.2	3.6	82.4	5.7	1.8	6.4
40代	282人	0.4	6.7	4.3	81.2	6.0	1.4	7.1
50代	237人	3.4	5.1	4.6	83.5	1.7	1.7	8.5
60代	360人	3.9	11.7	1.9	76.4	2.5	3.6	15.6
70代～	260人	3.1	11.9	1.9	76.2	2.3	4.6	15.0
築9年以内	496人	0.8	3.0	3.4	85.7	4.4	2.6	3.8
築10～19年	175人	1.1	13.1	6.3	76.6	1.7	1.1	14.2
築20年～	709人	4.8	10.4	2.1	76.2	3.2	3.2	15.2

≪ポイント≫
良し悪し以前の問題として、「住宅診断」自体をよく知らない、という方が大半とみられる。

2.「住宅診断」を受診した最新時期(受診者:数字記入)[Q6]

[全体]

・「2年以内に受けた」人が45%と多くなっている。



[築年数別]

・「2年以内に受診」が7割強と高くなったのが、『築10～19年』。住宅建築会社の定期診断(10年診断等)も影響していると思われる。

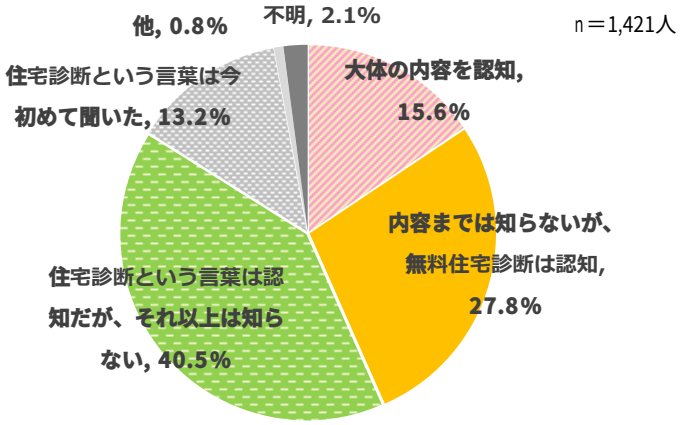
		1年未満	1年以内	2年以内	3～5年以内	6～9年以内	10年以上	不明	2年以内
全体	153人	17.0	12.4	15.7	24.8	14.4	13.1	2.6	45.1
男性	71人	19.7	11.3	14.1	25.4	12.7	14.1	2.8	45.1
女性	75人	16.0	14.7	17.3	22.7	14.7	12	2.7	48.0
20～30代	18人	27.8	11.1	33.3	16.7	0.0	0.0	11.1	72.2
40代	20人	15.0	30.0	20.0	25.0	5.0	0.0	5.0	65.0
50代	20人	10.0	5.0	35.0	10.0	30.0	10.0	0.0	50.0
60代	56人	16.1	10.7	8.9	33.9	17.9	12.5	0.0	35.7
70代～	39人	17.9	10.3	5.1	23.2	12.8	28.2	2.6	33.3
築9年以内	19人	26.3	5.3	21.1	31.6	5.3	0.0	10.5	52.7
築10～19年	25人	20.0	28.0	24.0	16.0	12.0	0.0	0.0	72.0
築20年～	108人	14.8	10.2	13.0	25.9	16.7	18.5	0.9	38.0

3.モデル事業「住宅診断」の認知(単数回答)[Q5]

[全体]

・「住宅診断という言葉は聞いたことはあるがそれ以上はよく知らない」が4割と最も多い。**「大体の内容を認知」は16%に留まる。**

住宅診断の
チラシを同封して設問



[年代別]

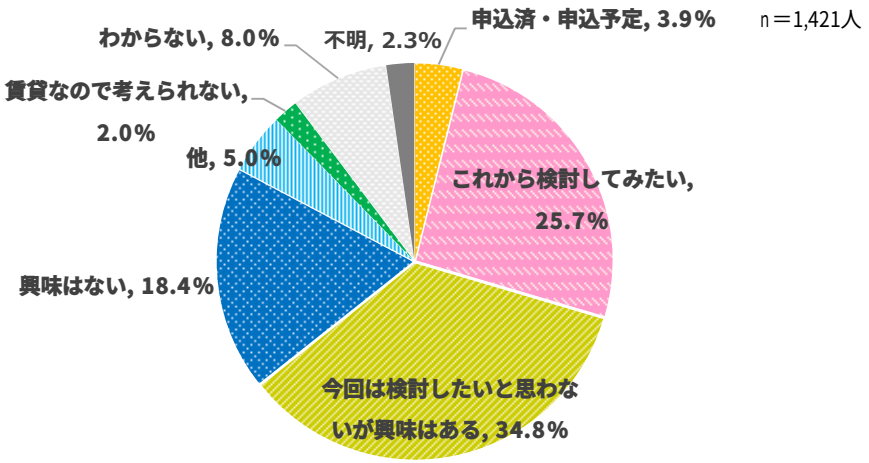
・どの層も「言葉は聞いたことがあるがそれ以上はよく知らない」が4割前後と多い。さらに、『40代以下』では「言葉も初めて聞いた」も2割前後にのぼる。

[築年数別]

・『築20年以上』では、「大体の内容認知＋無料診断は認知」が5割強と、他層よりは高い。

		モデル事業に指定されたことや具体的な診断項目など、大体の内容を認知	内容までは詳しく知らないが、無料住宅診断を受けられるということは認知	住宅診断という言葉は聞いたことがあるが、それ以上のことはよく知らない	住宅診断という言葉自体を今初めて聞いた	他	不明
全体	1,421人	15.6	27.8	40.5	13.2	0.8	2.1
男性	582人	16.0	26.3	39.5	14.3	0.7	3.3
女性	769人	15.3	29.8	40.3	12.5	0.7	1.4
20～30代	279人	8.2	22.6	41.2	26.2	1.1	0.7
40代	282人	11.3	25.2	45.0	17.4	0.4	0.7
50代	237人	16.9	27.8	43.5	9.7	0.8	1.3
60代	360人	21.9	31.4	35.8	6.9	0.6	3.3
70代～	260人	18.5	31.5	38.1	6.9	1.2	3.8
築9年以内	496人	8.5	23.8	43.1	23.0	0.2	1.4
築10～19年	175人	16.6	28.6	41.7	10.3	0.6	2.3
築20年～	709人	20.5	30.9	38.9	6.3	0.8	2.5

4.モデル事業の「住宅診断」の受診意向(単数回答)[Q7]



[全体]

・「すでに申し込んだ・申し込み予定」4%＋「これから検討してみたい」26%と合わせると、**全体の3割が今回受診意向を持っている。**

・**逆に、「興味はない」は18.4%と低い。**

[年代別]

・どの層も最も高いのが「今回は検討したいと思わないが興味はある」だが、「申込＋これから検討してみたい」と**積極的検討層は『50代以上』に多い。**

[築年数別]

・**「申込＋これから検討してみたい」は『築10年以上』で4割弱と高い。**(『築10～19年』『築20年～』では大きな違いはない)。

≪その他自由回答≫
・「マンションなので出来ない・出来るかわからない」「新築～築浅なので今は不要」「住宅メーカーで診断・相談できるので今は不要」など。

		申込済・申込予定	これから検討してみたい	今回は検討したいと思わないが興味はある	興味はない	他	賃貸なので考えられない	わからない	不明	申し込み＋これから検討してみたい
全体	1,421人	3.9	25.7	34.8	18.4	5.0	2.0	8.0	2.3	29.6
男性	582人	5.0	29.6	34.2	18.7	4.3	0.9	4.6	2.7	34.6
女性	769人	3.4	23.0	34.5	18.2	5.3	3.0	10.7	2.0	26.4
20～30代	279人	1.8	19.4	34.1	25.1	5.0	3.9	9.0	1.8	21.2
40代	282人	4.3	19.1	38.7	17.4	5.0	3.5	11.7	0.4	23.4
50代	237人	3.8	29.5	32.9	17.3	5.5	1.7	8.4	0.8	33.3
60代	360人	6.1	28.6	34.7	16.7	4.7	0.8	5.0	3.3	34.7
70代～	260人	3.1	31.9	33.1	15.8	5.0	0.0	6.5	4.6	35.0
築9年以内	496人	1.4	16.9	37.9	21.2	8.5	1.0	11.1	2.0	18.3
築10～19年	175人	6.3	31.4	33.1	17.1	3.4	1.7	5.7	1.1	37.7
築20年～	709人	5.4	30.7	34.4	16.1	3.1	1.1	6.3	2.8	36.1

≪ポイント≫
今回のモデル事業をきっかけとして、「住宅診断」に興味を持ったり、内容を認知した層が多いとみられ、今回の取り組みが、潜在ニーズの掘り起こしに大きく寄与したと推察される。

5.モデル事業の「住宅診断」申込・検討理由(申込・検討意向者:複数回答)[Q8]

[全体]

・「将来のことを考えて、診てもらった方がいい(62%)」が最も高い。

・「期間限定で無料だから(49%)」「国によるモデル事業で安心だから(31%)」など、「好機」「安心」が後押ししていることもうかがえる。

・「以前から気になっていた」「ちょうど検討していた」はいずれも1割台。

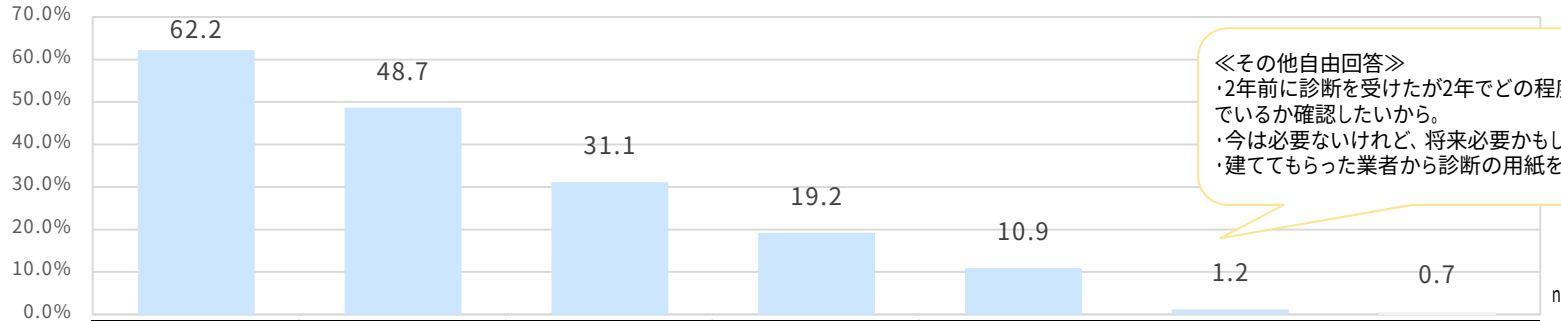
[年代別]

・どの層も「将来のことを考えて」が多い。また、「期間限定で無料で診断してもらえる」は年代が若いほど高い。

[築年数別]

・築年数が経っている層でも、「以前から問題がないか気になっていた」「ちょうどリフォームを検討」は3割に満たず多くはない。

→築年数が経っていても具体的な検討などの動きには至っていなかったが、今回のモデル事業を機会に潜在ニーズが発現したとみられる。



n＝421人

		将来のことを考えて、診てもらっておいた方がいいと思ったから	期間限定で無料で診断して貰えるから	国によるモデル事業であれば安心だから	以前から問題がないか気になっていたから	ちょうど最近修理・リフォームを検討していたところだったから	他	不明
		62.2	48.7	31.1	19.2	10.9	1.2	0.7
男性	201人	65.7	47.8	28.4	15.9	9.5	1.5	1.0
女性	203人	60.6	51.2	33.0	22.7	11.3	1.0	0.0
20～30代	59人	55.9	61.0	23.7	16.9	13.6	1.7	0.0
40代	66人	59.1	60.6	22.7	18.2	13.6	1.5	4.5
50代	79人	62.0	46.8	25.3	26.6	15.2	1.3	0.0
60代	125人	66.4	48.0	35.2	16.8	12.8	1.6	0.0
70代～	91人	63.7	35.2	40.7	18.7	1.1	0.0	0.0
築9年以内	91人	58.2	54.9	23.1	8.8	5.5	0.0	2.2
築10～19年	66人	69.7	59.1	33.3	18.2	6.1	3.0	0.0
築20年～	256人	62.1	43.0	33.6	23.4	14.5	1.2	0.4

6.モデル事業の「住宅診断」を今回は検討しない・興味がない理由(今回未検討・興味無し:複数回答)[Q9]

≪ポイント≫
「築20年以上」の居住者は、「住宅診断」の内容は理解しつつも、「住宅診断後のステップ」への不安感が大きい。
⇒「住宅診断」だけでなく、トータルでの不安を解消するアプローチが必要。

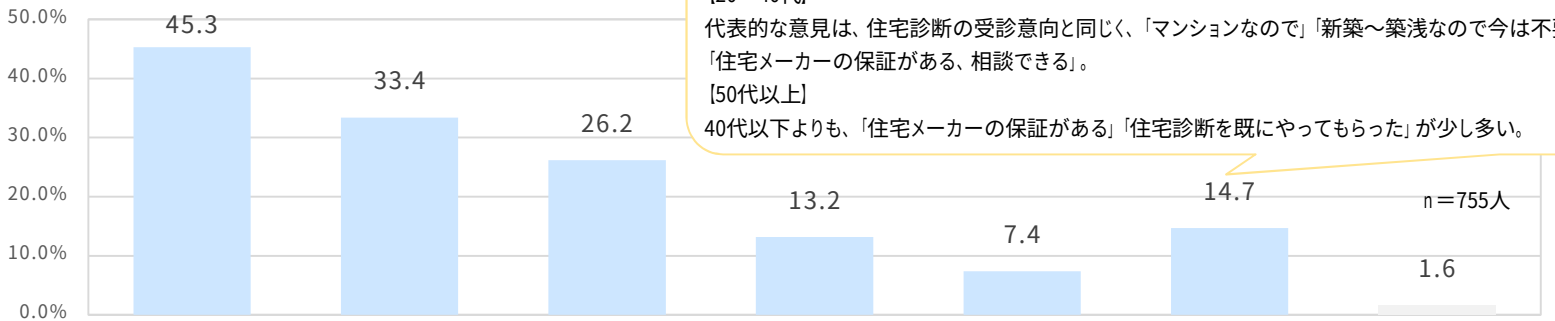
[全体]

・高かったものは「必要性を感じない(大きな不安や心配がない)」45%、「過剰な問題の指摘・提案をされたくない」33%。

[築年数別]

・『築9年以内』では「必要性を感じない」が57%を占める。
・『築20年以上』では「必要性」よりも、「過剰な問題を指摘されたくない(43%)」が高い。
また、「診断を受けたらリフォームしないといけなくなりそう(36%)」も他層より高い。

≪その他自由回答≫
【20～40代】
代表的な意見は、住宅診断の受診意向と同じく、「マンションなので」「新築～築浅なので今は不要」「住宅メーカーの保証がある、相談できる」。
【50代以上】
40代以下よりも、「住宅メーカーの保証がある」「住宅診断を既にやってもらった」が少し多い。



		必要性を感じないから(大きな不安や心配がない等)	過剰な問題の指摘や不必要な提案をされたくないから	この診断を受けたら、リフォームまでしないといけなくなりそうだから	あまり他人に家の中を見られたくないから	どのような内容かよくわからないから	他	不明
全体	755人	45.3	33.4	26.2	13.2	7.4	14.7	1.6
男性	308人	43.2	34.1	26.3	14.9	8.1	14.6	1.9
女性	405人	47.7	33.1	25.7	12.3	6.4	15.1	1.5
20～30代	165人	55.8	20.6	17.6	8.5	6.1	18.8	1.8
40代	158人	44.9	34.2	27.2	17.1	8.9	15.8	0.0
50代	119人	37.8	32.8	29.4	16.8	7.6	16.8	1.7
60代	185人	39.5	43.8	31.9	12.4	6.5	12.4	1.1
70代～	127人	47.2	34.6	25.2	12.6	8.7	9.4	3.9
築9年以内	293人	56.7	20.8	13.0	9.9	6.8	19.8	2.0
築10～19年	88人	44.3	30.7	27.3	10.2	3.4	15.9	2.3
築20年～	358人	37.2	42.7	35.8	16.5	8.7	10.9	1.1

5)リフォームについて

1.住宅リフォーム実施経験（ここ10年の間で）(持家居住者;複数回答) [Q12]

[全体]

・「修理・リフォームはほとんど行っていない（41%）」、「大規模な修理・リフォームを実施した（35%）」と、両極に分かれる。

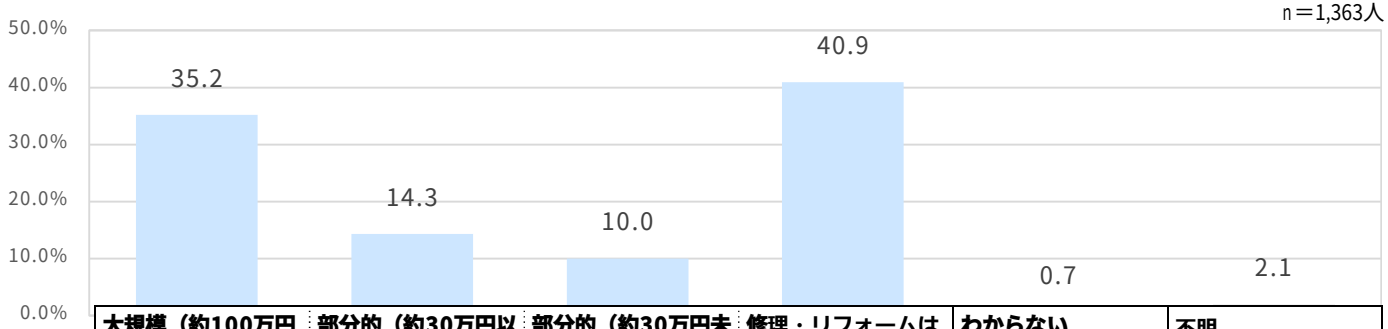
[築年数別]

『築9年以内』・・・「ほとんど行っていない」が81%を占める。

『築10～19年以内』・・・「ほとんど行っていない」が49%と最も多いが、「大規模実施」も28%存在する。

『築20年～』・・・「大規模実施」が60%と最も多いが、「ほとんど行っていない」も12%存在する。

n＝1,363人



		大規模（約100万円以上）な修理・リフォームを実施した	部分的（約30万円以上）な修理・リフォームを実施した	部分的（約30万円未満）な修理・リフォームを実施した	修理・リフォームはほとんど行っていない	わからない	不明
全体	1,363人	35.2	14.3	10.0	40.9	0.7	2.1
男性	559人	38.3	15.0	10.6	36.1	0.5	2.1
女性	734人	32.6	12.9	9.7	45.2	0.8	2.2
20～30代	262人	15.3	8.4	5.0	68.3	1.9	2.3
40代	267人	19.1	7.1	9.4	62.2	0.7	1.5
50代	230人	32.2	17.0	16.1	37.4	0.0	0.9
60代	349人	54.4	14.6	9.2	24.4	0.0	1.4
70代～	253人	48.6	25.3	11.5	16.2	0.8	4.3
築9年以内	480人	3.5	5.2	5.4	80.8	0.8	4.2
築10～19年	169人	28.4	12.4	10.7	48.5	0.6	0.6
築20年～	688人	59.7	20.8	12.5	11.6	0.4	0.7

2.現在の住宅で困っていること(持家居住者:複数回答)[Q14]

[全体]

・「特にない」は37%であり、**「何か困っていることがある」人は6割強。**

困っている箇所で高かったものは「外装の劣化」「各種設備の老朽化」「地震に対する強さ」。

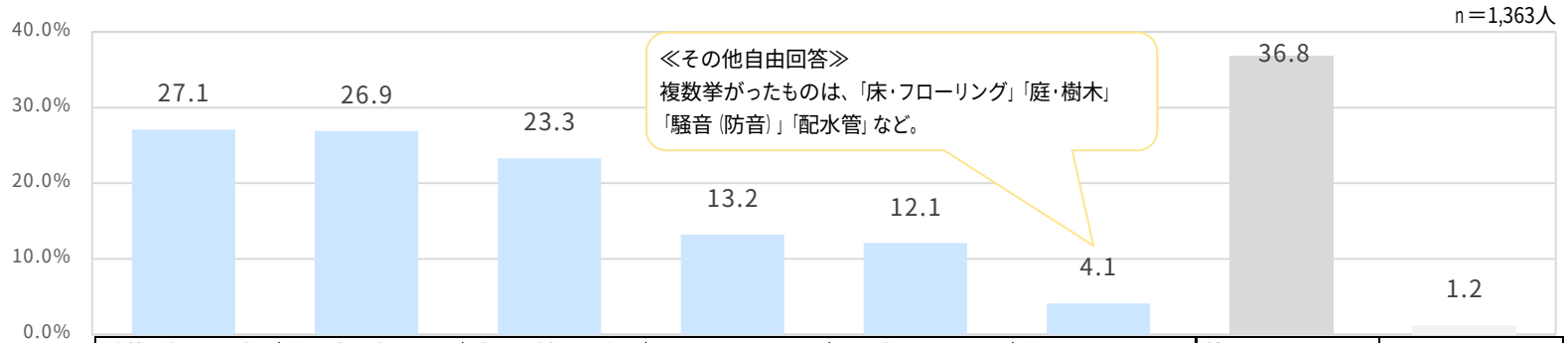
[築年数別]

『築9年以内』・・・「特にない」が60%を占める。

『築10～19年』・・・「外壁の劣化」「住居内設備の老朽化」が3割超。「特にない」は28%。

『築20年以上』・・・「外壁の劣化」「住居内設備の老朽化」に加え、「耐震」も3割を超える。特にない」は23%。

※「バリアフリー、介護対応」は、年代が上がってもさほど困り事として捉えられていない。

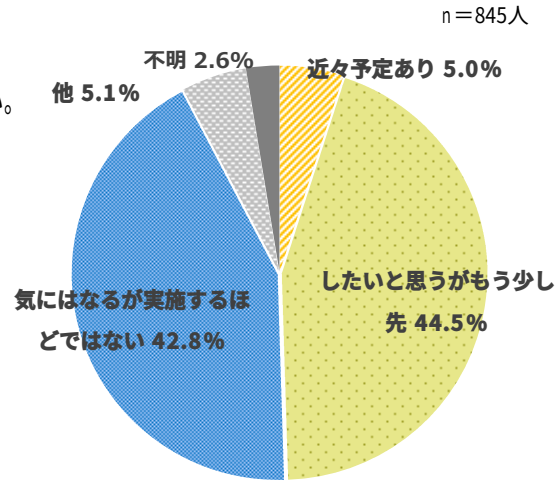


		外装(外壁、屋根など)の劣化	住居内の各種設備の老朽化	地震に対する強さ	バリアフリー、介護対応	部屋数や間取り	他	特にない	不明
全体	1,363人	27.1	26.9	23.3	13.2	12.1	4.1	36.8	1.2
男性	559人	27.9	27.0	25.6	14.3	10.4	3.4	35.8	0.9
女性	734人	26.2	27.0	21.4	11.7	13.4	4.8	37.6	1.5
20～30代	262人	14.1	19.5	12.6	2.3	19.8	7.3	47.3	1.1
40代	267人	25.8	22.5	19.1	6.4	16.5	2.6	45.3	0.0
50代	230人	36.5	40.0	22.2	16.1	16.5	5.7	29.1	0.4
60代	349人	32.1	30.9	29.8	19.2	6.0	3.4	29.2	1.4
70代～	253人	26.5	21.3	30.8	20.9	4.0	2.0	34.0	3.2
築9年以内	480人	7.7	8.5	10.2	3.1	14.0	5.8	60.4	1.5
築10～19年	169人	38.5	34.3	19.5	8.9	9.5	3.6	27.8	0.6
築20年～	688人	37.4	37.1	33.0	21.5	11.0	2.9	23.0	1.0

3.リフォーム・修繕意向(持家居住で困っていることがある人:単数回答)[Q15]

[全体]

・「したいと思うがもう少し先」(44.5%)と
「気にはなるが実施するほどではない」(42.8%)とが多い。



「他」回答

Q15自由回答	年齢	性別	居住地
住み替えたい。	30代	男性	白庭台
ゆくゆくの買い替え。(具体的には考えていない。)	30代	女性	白庭台
費用が出来たと思えたなら。	50代	女性	真弓南
宅地造成された場所なので、個人的にできる事ではないため、定期的に業者さんに見てもらっている。	50代	女性	真弓南
現在、施工中。	60代	男性	白庭台
住替えまたは建替え。	60代	男性	真弓
じたいが、めどが立たない。	60代	男性	真弓
気になるが資金が無い。	60代	男性	真弓
診断依頼の結果で考える。	60代	女性	-
最近リフォーム済み。	60代	女性	真弓
施工済。	70代	男性	白庭台
予算がない。	70代	男性	真弓
リフォームしたいが資金がない。	70代	男性	真弓
じたいが予算上未定。株価上昇に期待。	70代	男性	真弓
商売や家族の都合で考える(ステンドグラス工房の運営)。	70代	男性	真弓南
集合住宅なので管理組合の考えで決まる。	70代	女性	白庭台
リフォームは一応したので、これ以上は大掛かりになるのでできない	80代以上	女性	真弓

[築年数別]

『築9年以内』・・・「気にはなるが実施するほどではない」が58%で最も多い。

『築10～19年』・・・「したいと思うがもう少し先」が50%を超える。

『築20年以上』・・・「したいと思うがもう少し先」が48%。

※築10年以上では、「近々予定あり」＋「したいと思うがもう少し先」が過半数。

		近々予定あり	したいと思うがもう少し先	気にはなるが実施するほどではない	他	不明	予定あり＋したいと思う
全体	845人	5.0	44.5	42.8	5.1	2.6	49.5
男性	354人	6.5	43.2	42.4	5.6	2.3	49.7
女性	447人	4.0	44.1	43.8	5.1	2.9	48.1
20～30代	135人	5.9	39.3	50.4	3.7	0.7	45.2
40代	146人	1.4	47.9	43.8	4.8	2.1	49.3
50代	162人	8.0	55.6	30.2	3.7	2.5	63.6
60代	242人	7.0	42.1	43.8	4.5	2.5	49.1
70代～	159人	1.3	37.7	47.2	8.8	5.0	39.0
築9年以内	183人	3.8	29.0	57.9	7.1	2.2	32.8
築10～19年	121人	3.3	50.4	42.1	0.8	3.3	53.7
築20年～	523人	5.9	47.8	38.0	5.5	2.7	53.7

4.住宅リフォームへの戸惑い・不安(持家居住者:複数回答)[Q13]

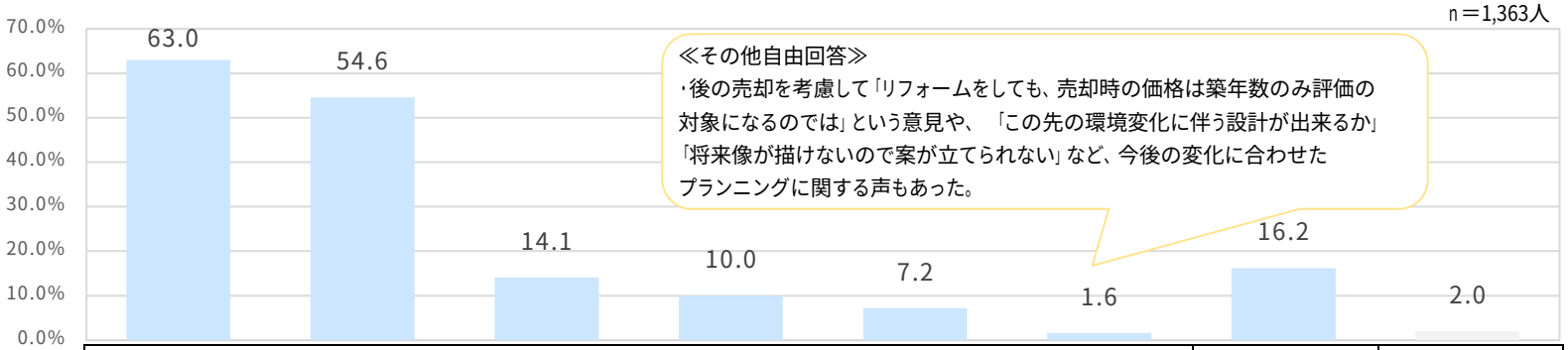
[全体]

・「特にない」は16%と低く、ほとんどが何らかの不安を感じている。

・リフォーム自体をするかどうか(建て替え、住み替えとの選択)で迷うのではなく、**「費用の適正性(63%)」、「業者の信頼性(55%)」への不安が圧倒的に高い。**

[年代別]

・『70代～』では「何年住めるかわからない(22%)」が他層より高い。



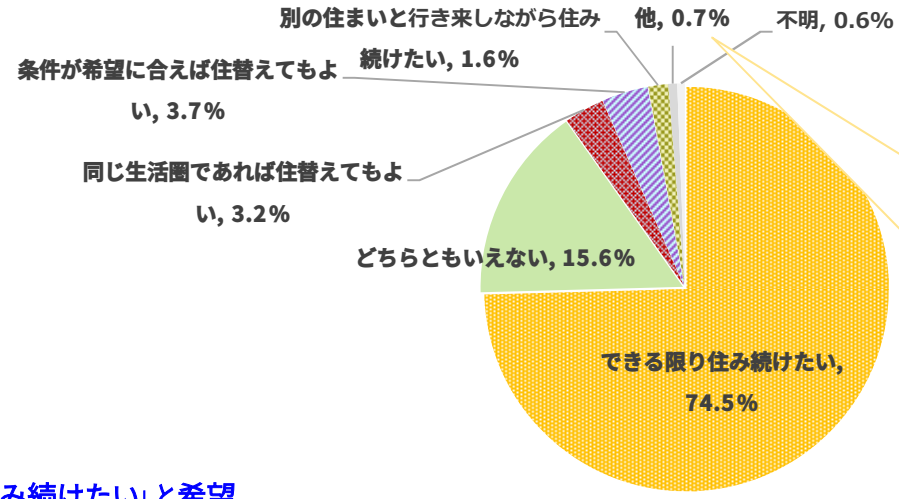
		本当にその費用が適正なのか	どこに頼めば信頼して任せられるか	何年住めるかわからないのに無駄になるのでは	修理・リフォームより建て替えた方がよいのでは	修理・リフォームより住み替えた方がよいのでは	他	特にない	不明
全体	1,363人	63.0	54.6	14.1	10.0	7.2	1.6	16.2	2.0
男性	559人	64.2	52.2	15.4	8.2	6.1	1.8	17.9	1.8
女性	734人	63.9	57.8	12.7	11.2	7.9	1.6	13.5	2.2
20～30代	262人	63.7	59.5	8.8	10.3	6.5	1.9	15.6	0.8
40代	267人	70.4	63.7	10.5	9.4	7.5	1.1	14.2	0.0
50代	230人	70.9	57.8	13.0	14.3	9.1	1.3	10.9	1.3
60代	349人	62.5	51.0	15.5	11.7	6.0	2.3	15.8	2.9
70代～	253人	47.8	41.9	22.1	3.6	7.5	1.2	24.5	4.7
築9年以内	480人	65.0	58.8	6.3	5.8	4.8	2.1	16.7	2.9
築10～19年	169人	64.5	52.7	11.2	7.7	6.5	0.6	19.5	0.6
築20年～	688人	61.5	52.2	20.3	13.7	8.9	1.6	14.7	1.6

6)住み替えについて

1.住み替え意向(単数回答)[Q17]

[全体]

・どの層でも「できる限り住み続けたい」が7～8割を占める。



n＝1,421人

≪その他自由回答≫
・子育て中は住み続けたい。(30代男性/白庭台)
・数年後、両親(跡継ぎのため)のもとへ帰るので、この住まいを売却する予定。(30代女性/白庭台)
・平坦な、車が無くても暮らせる大阪市内に住みたい。
(40代女性/白庭台)
・借家のため、期限がきたら引っ越す予定。
(40代女性/真弓)
・妻が亡くなれば介護施設へ移るかも。
(80代以上男性/白庭台)

[年代別]

・特に『60代以上』は8割近くが「できる限り住み続けたい」と希望。

[単身60代～]

・「できる限り住み続けたい」が81.2%と、『60代以上』と比較してさらに高い。

		できる限り住み続けたい	どちらともいえない、わからない	同じ生活圏であれば、住み替えてもよい	価格や間取り、サービスなどの条件が希望に合致すれば、住み替えてもよい	別の住まい(実家や別荘など)と行き来しながら、今のまま住み続けたい	他	不明	同じ生活圏＋条件により住み替えてもよい
全体	1,421人	74.5	15.6	3.2	3.7	1.6	0.7	0.6	6.9
男性	582人	76.5	14.4	3.1	2.9	1.7	0.5	0.9	6.0
女性	769人	73.1	16.6	3.5	4.3	1.4	0.9	0.1	7.8
20～30代	279人	71.3	13.6	7.2	5.7	1.1	1.1	0.0	12.9
40代	282人	69.1	17.7	3.5	6.4	1.4	1.4	0.4	9.9
50代	237人	73.0	20.3	2.1	1.3	2.5	0.4	0.4	3.4
60代	360人	78.9	14.2	2.5	1.9	1.7	0.3	0.6	4.4
70代～	260人	78.8	13.5	0.8	3.5	1.5	0.4	1.5	4.3
単身60代～	49人	81.6	10.2	0.0	6.1	0.0	2.0	0.0	6.1
真弓	389人	71.7	18.3	2.1	4.9	2.1	0.8	0.3	7.0
真弓南	220人	72.3	20.5	4.1	1.8	0.9	0.0	0.5	5.9
白庭台	803人	76.6	13.0	3.5	3.7	1.6	0.9	0.7	7.2

2.住み続けたい理由(住み続けたい人:複数回答)[Q18]

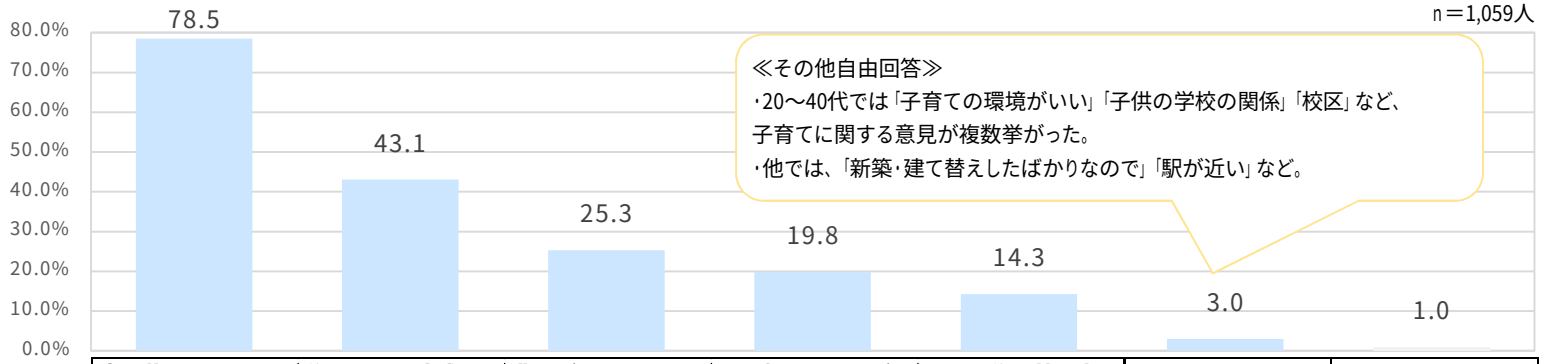
[全体]

・全年齢層を通じて、「今の暮らしに不自由を感じないから」と思っている方が約8割にのぼる。
・「住んでいる地域に愛着があるから」も43%と高い。

≪ポイント≫
・「費用がかかる」「引っ越しが面倒」「慣れるのが大変」など、「本当は(もしくは場合によっては)移りたいが、別の原因があって・・・」というのは少数派。
・移らなければならないやむを得ない事情やきっかけが無い限り住み続ける方が多いとみられる。

[年代別]

・「住んでいる地域に愛着がある」は、年代が上がるにつれて高くなる。



		今の暮らしに不自由を感じないから	住んでいる地域に愛着があるから	費用がかかるから	引っ越しするのが面倒だから	新しい住み替え先に慣れるのが大変だから	他	不明
全体	1,059人	78.5	43.1	25.3	19.8	14.3	3.0	1.0
男性	445人	82.2	48.3	24.9	17.5	13.0	2.7	0.4
女性	562人	76.9	38.4	25.4	21.5	13.7	3.4	1.6
20～30代	199人	76.9	35.7	27.1	15.1	10.1	4.0	1.5
40代	195人	73.8	33.3	34.4	25.1	16.4	4.1	1.0
50代	173人	72.8	42.2	26.6	22.0	16.2	3.5	0.6
60代	284人	85.6	48.2	23.9	20.8	14.4	2.1	1.1
70代～	205人	79.5	52.7	15.6	16.1	13.7	2.0	1.0
単身60代～	49人	78.6	42.7	26.0	19.5	13.8	3.1	0.8
真弓	279人	77.4	53.8	21.1	19.4	14.7	3.6	0.4
真弓南	159人	76.7	52.8	25.8	16.4	15.7	1.9	1.3
白庭台	615人	79.7	35.4	26.5	21.0	13.7	3.1	1.3

3.住み続けることに対する将来の不安(複数回答)[Q19]

[全体]

・「特に不安はない」は36%であり、**「何らかの不安がある」方は6割強。**

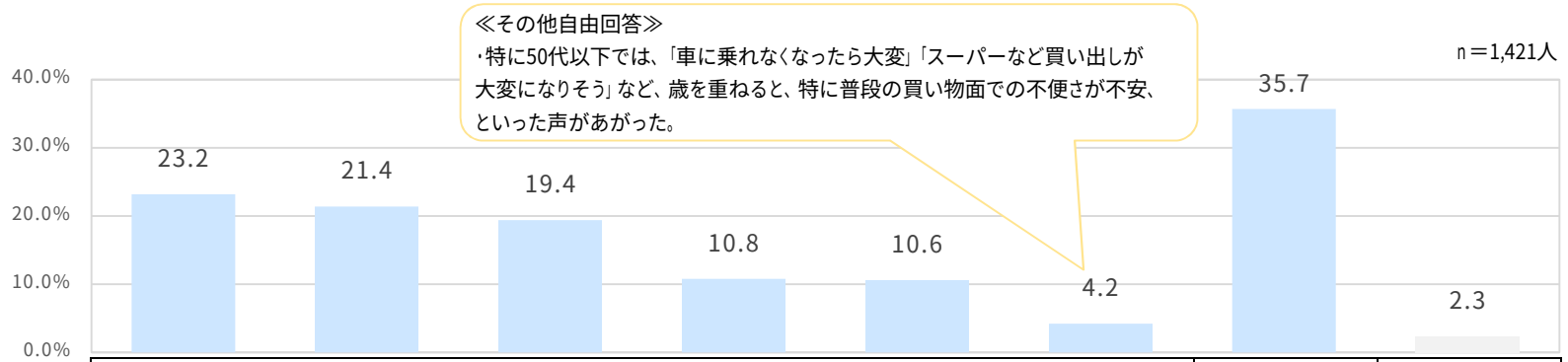
不安として高かったのは、「一人暮らしになった時に不便」「地域活動が維持できない」「子供に負担をかけてしまう」。

[年代別]

・「一人暮らしになった時に不便」「地域活動が維持できない」は『50代～』から増え始める。「子供への負担」を感じはじめるのは『60代～』。

[単身60代～]

・「現在の住まいは一人暮らしに不便」と感じる人は8.2%と少ないが、**「子供への負担」への意識は38.8%と最も高くなる。**



		現在の住まいでは、一人暮らしになったときに不便	自治会など地域の活動が維持できない	子供に負担・心配・迷惑をかけてしまう	現在の住まいでは、自分や配偶者の介護ができない	現在の住まいでは、親の介護ができない	他	特に不安はない	不明
全体	1,421人	23.2	21.4	19.4	10.8	10.6	4.2	35.7	2.3
男性	582人	23.2	18.0	20.3	12.4	9.1	3.6	35.4	2.4
女性	769人	23.1	23.8	19.4	9.1	11.8	4.2	36.2	2.1
20～30代	279人	15.4	9.0	13.6	5.0	19.7	3.2	46.2	2.2
40代	282人	18.8	19.5	16.0	7.1	18.1	4.6	38.7	1.1
50代	237人	25.3	26.2	19.4	16.9	11.8	5.1	28.7	3.0
60代	360人	26.9	26.9	21.4	13.1	4.2	3.9	34.7	2.8
70代～	260人	28.8	24.2	26.2	11.9	0.8	4.2	29.6	2.7
単身60代～	49人	8.2	22.4	38.8	6.1	0.0	10.2	32.7	2.0
真弓	279人	25.2	24.7	20.6	12.6	8.0	4.6	30.6	2.1
真弓南	159人	31.4	33.6	20.0	15.9	6.4	1.8	29.5	1.8
白庭台	615人	20.0	16.2	18.3	8.5	13.0	4.6	40.2	2.6

4.住み替える場合の候補地(複数回答)[Q20]

[全体]

・最も高かったのは「現在と同じ生活圏」56%。次に「奈良県以外の国内」25%、「生駒市内」22%と続く。

[年代別]

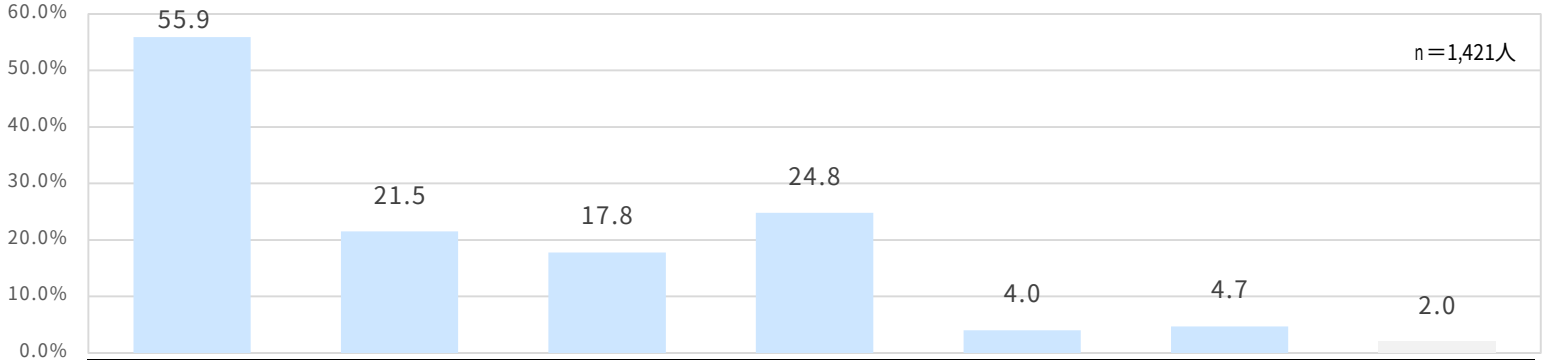
・どの年代も、「現在と同じ生活圏」が最も多いが、特に『60代以上』の65%は「現在と同じ生活圏」を希望。

・一方で、『50代以下』の3割が「奈良県以外の国内(主に大阪、京都、兵庫など)」を挙げており、若年層を中心に流動的な意向もうかがえる。

「奈良県以外の国内」自由回答

※多かったもの上位5位までを抜粋

1位	大阪：133人
2位	兵庫：40人
3位	京都：29人
4位	東京：13人
5位	神奈川：10人



		現在と同じ生活圏	生駒市内	奈良県内	奈良県以外の国内	海外	他	不明
全体	1,421人	55.9	21.5	17.8	24.8	4.0	4.7	2.0
男性	582人	59.8	21.6	16.5	22.9	5.0	4.1	2.6
女性	769人	53.6	20.8	18.3	26.5	3.3	5.1	1.2
20～30代	279人	47.3	24.7	22.9	30.1	7.5	2.9	1.8
40代	282人	43.3	24.1	22.0	31.6	5.0	4.3	1.4
50代	237人	56.5	19.4	19.4	30.4	3.8	5.9	0.8
60代	360人	65.6	17.2	12.2	19.7	2.8	6.7	1.4
70代～	260人	65.0	22.7	14.2	14.2	1.2	3.5	4.6
単身60代～	49人	63.3	26.5	16.3	14.3	4.1	4.1	0.0
真弓	279人	60.9	21.9	16.5	23.4	3.9	3.6	2.1
真弓南	159人	57.3	14.5	18.6	26.4	2.3	4.5	0.9
白庭台	615人	52.9	23.2	18.3	25.3	4.6	5.4	2.1

5.住み替える場合の立地条件(複数回答)[Q21]

[全体]

・全年齢層を通じて、「交通利便性が高い」が最も多く、全体の76%が選択。

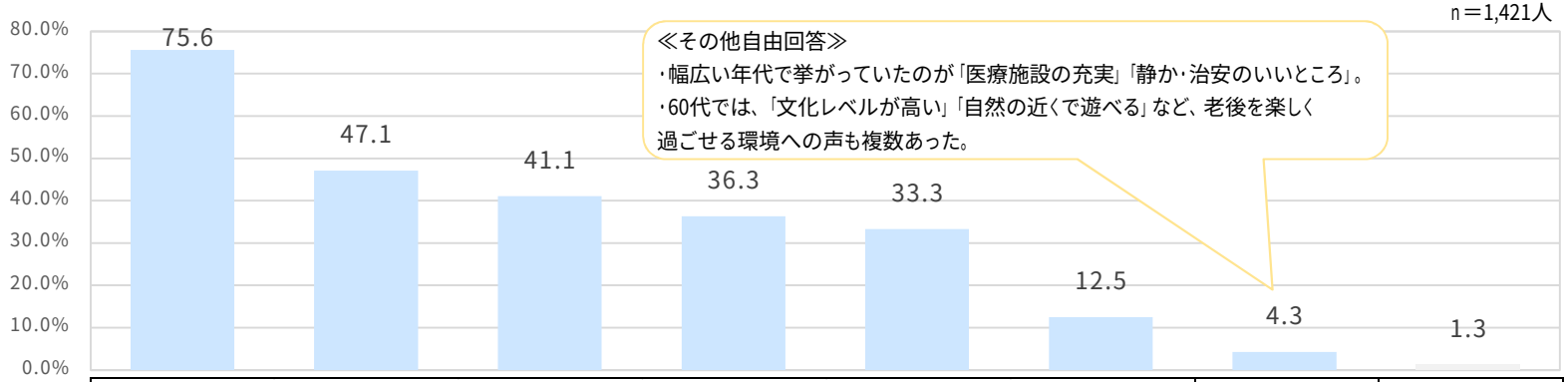
[年代別]

・「20～30代」では、「親や子供が暮らす家の近く(50%)」「子育てしやすい(40%)」が高い。

・「50代」「60代」では、「自然災害の発生が少ない」「商業施設・レジャー施設が近くにある」が高くなる。

・「単身60代以上」の53%が「自然が豊か」を選択するなど、年齢が上がるにつれて、老後を穏やかに過ごせる環境が好まれる。

n＝1,421人

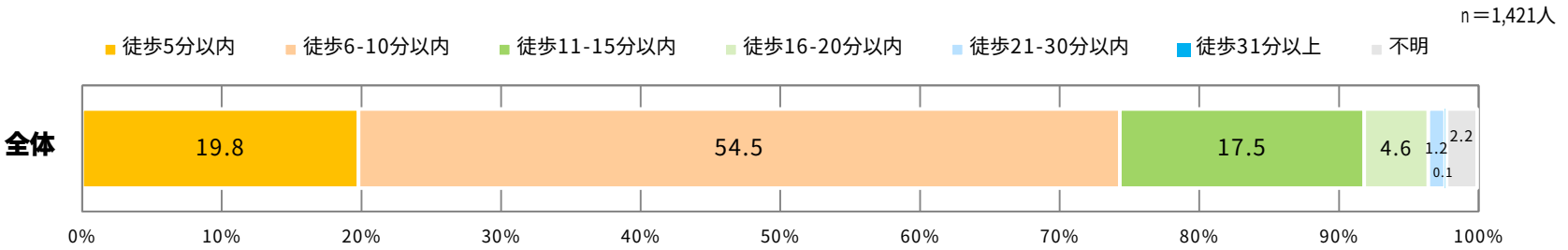


		交通利便性が高い	自然災害の発生が少ない	商業施設やレジャー施設が近くにある	親や子供が暮らす家の近く	自然が豊か	子育てしやすい	他	不明
全体	1,421人	75.6	47.1	41.1	36.3	33.3	12.5	4.3	1.3
男性	582人	74.1	44.7	42.4	28.9	35.1	9.6	4.8	1.7
女性	769人	76.2	49.8	40.3	42.1	32.1	14.8	3.9	0.8
20～30代	279人	74.2	37.6	33.7	49.8	29.0	39.8	5.7	1.1
40代	282人	76.6	44.0	33.7	40.8	28.0	17.0	3.2	0.7
50代	237人	79.3	53.2	49.8	38.0	30.4	3.4	6.8	0.0
60代	360人	74.7	54.2	45.3	30.6	39.7	1.9	3.3	1.4
70代～	260人	73.8	45.8	43.5	23.5	36.9	0.8	3.1	3.1
単身60代～	49人	69.4	44.9	38.8	38.8	53.1	2.0	4.1	0.0
真弓	279人	77.1	50.1	40.6	28.3	36.2	8.0	4.4	1.5
真弓南	159人	78.6	51.8	47.3	38.2	31.8	5.5	4.5	0.5
白庭台	615人	74.2	44.3	39.5	39.5	31.9	16.4	4.1	1.4

6.住み替える場合の最寄り駅までの最大時間条件(数字記入)[Q22]

[全体]

・「徒歩10分以内」が74%。平均8.6分。



[年代別]

・どの年代も「徒歩10分以内」が7割で、年代による違いはない。

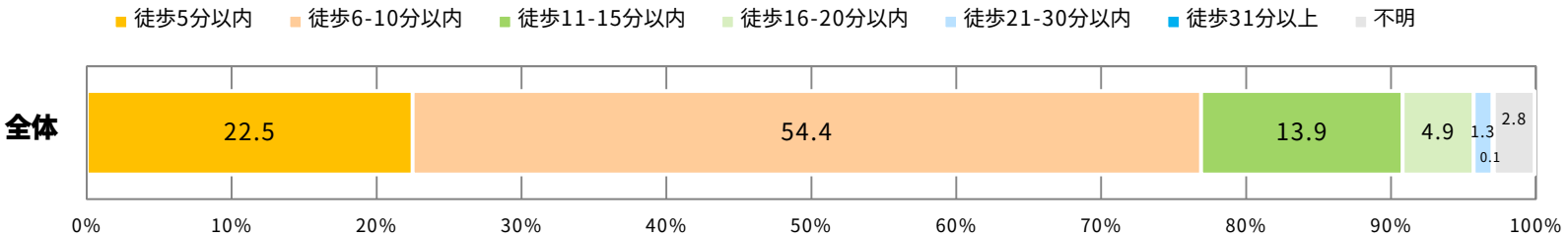
		徒歩5分以内	徒歩6-10分以内	徒歩11-15分以内	徒歩16-20分以内	徒歩21-30分以内	徒歩31分以上	不明	徒歩10分以内
全体	1,421人	19.8	54.5	17.5	4.6	1.2	0.1	2.2	74.3
男性	582人	20.1	49.5	21.0	6.2	1.0	0.3	1.9	69.6
女性	769人	19.8	57.9	15.2	3.6	1.3	0.0	2.2	77.7
20～30代	279人	22.6	50.9	17.9	5.0	1.8	0.0	1.8	73.5
40代	282人	21.6	57.1	15.6	3.5	1.4	0.0	0.7	78.7
50代	237人	20.3	56.1	18.6	3.8	0.0	0.0	1.3	76.4
60代	360人	19.4	52.2	19.7	4.2	1.4	0.3	2.8	71.6
70代～	260人	15.4	57.3	15.0	6.5	1.2	0.4	4.2	72.7
単身60代～	49人	19.8	54.5	17.7	4.4	1.2	0.1	2.2	74.3
真弓	279人	12.9	52.4	23.4	7.5	1.5	0.0	2.3	65.3
真弓南	159人	11.8	50.9	24.1	7.3	2.3	0.9	2.7	62.7
白庭台	615人	25.3	56.5	13.0	2.5	0.7	0.0	2.0	81.8

7.住み替える場合の最寄りスーパーまでの最大時間条件(数字記入)[Q22]

[全体]

・「徒歩10分以内」が77%。平均8.3分。「最寄り駅」より少し短い。

n＝1,421人



[年代別]

・どの年代も「徒歩10分以内」が7割で、年代による違いはない。

		徒歩5分以内	徒歩6-10分以内	徒歩11-15分以内	徒歩16-20分以内	徒歩21-30分以内	徒歩31分以上	不明	徒歩10分以内
全体	1,421人	22.5	54.4	13.9	4.9	1.3	0.1	2.8	76.9
男性	582人	22.7	52.1	14.8	5.8	1.7	0.2	2.7	74.8
女性	769人	22.1	56.0	14.2	3.8	1.2	0.0	2.7	78.1
20～30代	279人	21.5	53.4	17.2	3.9	2.2	0.0	1.8	74.9
40代	282人	24.1	53.2	13.1	6.7	1.4	0.0	1.4	77.3
50代	237人	24.1	53.6	17.7	2.5	0.0	0.0	2.1	77.7
60代	360人	23.6	55.8	10.3	5.6	1.9	0.0	2.8	79.4
70代～	260人	18.8	55.4	13.1	5.4	0.8	0.4	6.2	74.2
単身60代～	49人	26.5	51.0	10.2	4.1	2.0	0.0	6.1	77.5
真弓	279人	17.7	54.5	15.4	6.4	2.1	0.0	3.9	72.2
真弓南	159人	21.4	53.6	14.5	5.9	1.8	0.5	2.3	75.0
白庭台	615人	25.3	54.2	13.2	4.0	0.9	0.0	2.5	79.5

8.住み替える場合の住居形態(複数回答)[Q23]

[全体]

・高かったのは「戸建住宅（38%）」。次に「通常の分譲マンション（32%）」。

・「シニア向け住宅」は、「賃貸」より「分譲」の方が多い。

→現持ち家居住者が多く、住み替えるシニア住宅も、持ち家志向。

[年代別]

・「シニア向け住宅」が、検討範疇に入ってくる人が増えるのは『50代～』。

[単身60代～]

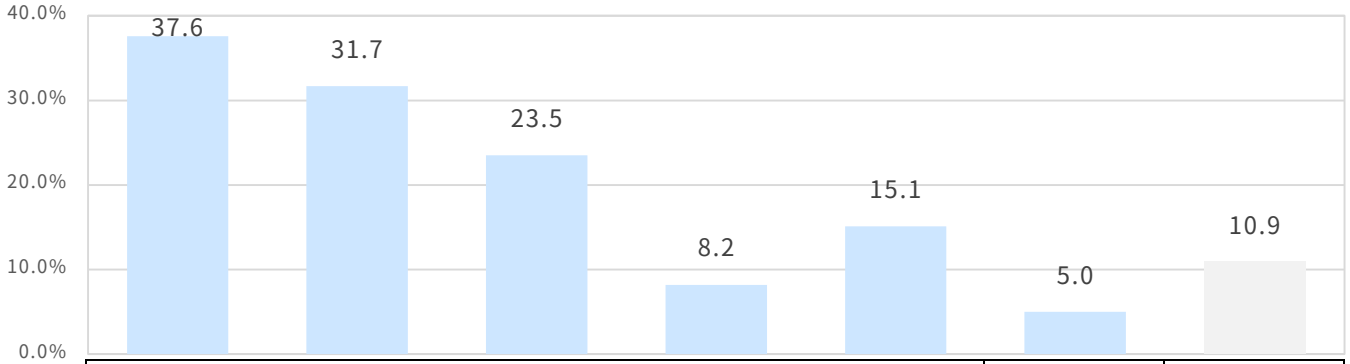
・他層より、「シニア向け住宅」(分譲・賃貸)を選ぶ人が多い。

「他」回答

※「わからない」とした人が多かった。
（コメントからは割愛）

Q23自由回答/内容	年齢	性別	居住地
シニア向けマンション。	30代	男性	白庭台
将来の貯蓄の金額によって。	30代	女性	真弓
実家の持家。	40代	女性	白庭台
環境が良い家。	40代	女性	白庭台
親の家。	40代	女性	白庭台
田舎の実家。	50代	女性	白庭台
親の家。	50代	女性	白庭台
親の居住地に住む場合には親の近く。	50代	-	真弓
住居物件の売却代金。	60代	男性	白庭台
建て替え。	60代	男性	真弓南
親の家。	60代	男性	真弓南
金銭的な余裕がない。	60代	女性	真弓南
売却した時に入る金額で考える。	60代	-	白庭台
老人ホーム。	70代	男性	白庭台
老人ホーム。	70代	男性	真弓
シニア向施設。	80代以上	男性	白庭台

n＝1,421人



		戸建住宅	通常の分譲マンション	シニア向け住宅（分譲）	通常の賃貸マンション	シニア向け住宅（賃貸）	他	不明
全体	1,421人	37.6	31.7	23.5	8.2	15.1	5.0	10.9
男性	582人	42.1	30.2	24.9	8.6	14.1	4.6	8.9
女性	769人	35.1	33.8	23.0	8.2	15.7	5.1	11.4
20～30代	279人	49.8	36.6	10.0	10.4	8.2	4.7	10.4
40代	282人	42.9	38.3	18.1	8.2	10.6	5.3	12.1
50代	237人	38.0	35.9	27.8	9.3	18.1	5.1	8.0
60代	360人	31.1	30.0	28.1	7.5	19.7	4.4	10.0
70代～	260人	27.7	18.5	33.8	6.2	18.5	5.8	13.5
単身60代～	49人	14.3	24.5	46.9	12.2	24.5	2.0	12.2

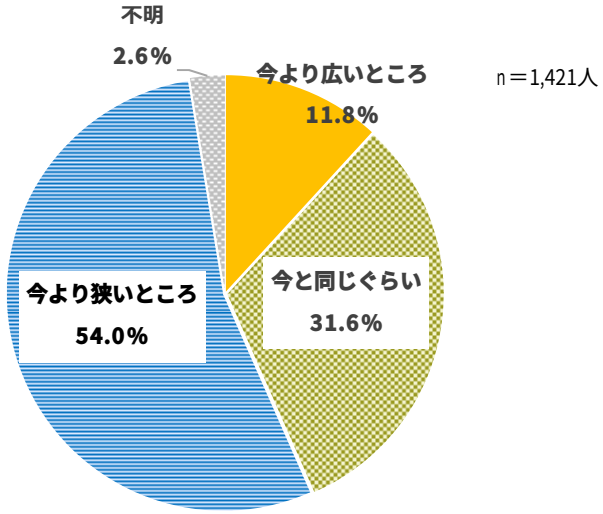
≪ポイント≫

・現在持家なので住み替える場合のシニア住宅も持家志向となるとみられる。

9.住み替える場合の住居の広さ(単数回答)[Q26]

[全体]

・「今より狭いところ」が過半数以上を占める。



[年代別]

・「今より狭いところ」は年代が上がるほど高くなっており、特に『50代以上』でその割合が高くなる。

		今より広いところ	今と同じぐらい	今より狭いところ	不明
全体	1,421人	11.8	31.6	54.0	2.6
男性	582人	13.1	32.5	51.7	2.7
女性	769人	11.7	30.8	55.1	2.3
20～30代	279人	26.5	33.7	39.1	0.7
40代	282人	14.2	38.3	45.7	1.8
50代	237人	9.3	32.9	57.0	0.8
60代	360人	5.6	27.5	64.4	2.5
70代～	260人	4.6	26.2	61.9	7.3
単身60代～	49人	12.2	31.9	53.4	2.6

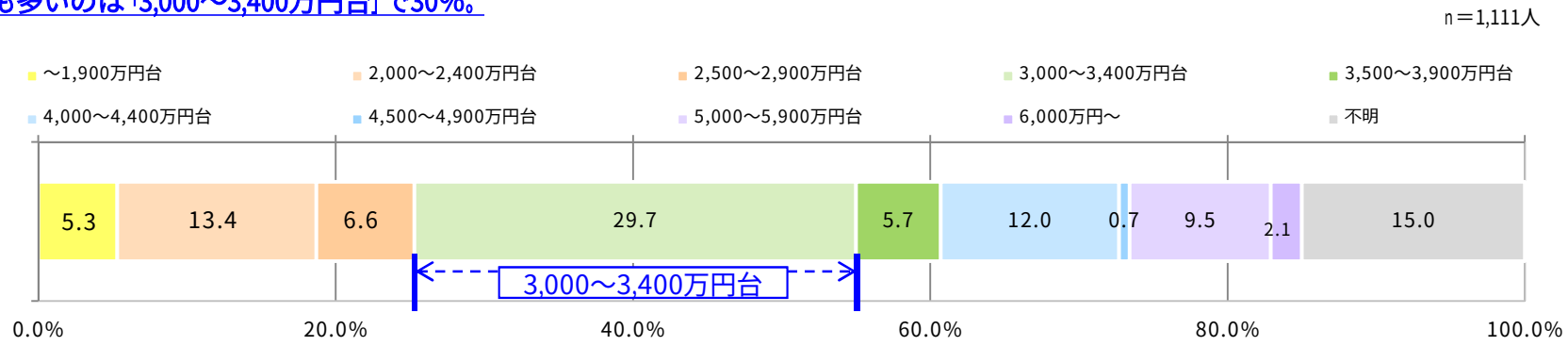
≪ポイント≫

・少人数(夫婦のみ、単身)での居住を想定しているとみられる。

10.住み替える場合の住宅購入上限金額(住み替え購入希望の人:数字記入)[Q23]

[全体]

・最も多いのは「3,000～3,400万円台」で30%。



[年代別]

・全ての年代で、「3,000～3,400万円台」が最も多いが、『60代以上』ではその中でも差があり、「～2,400万円台」も2割強ある。

[単身60代～]

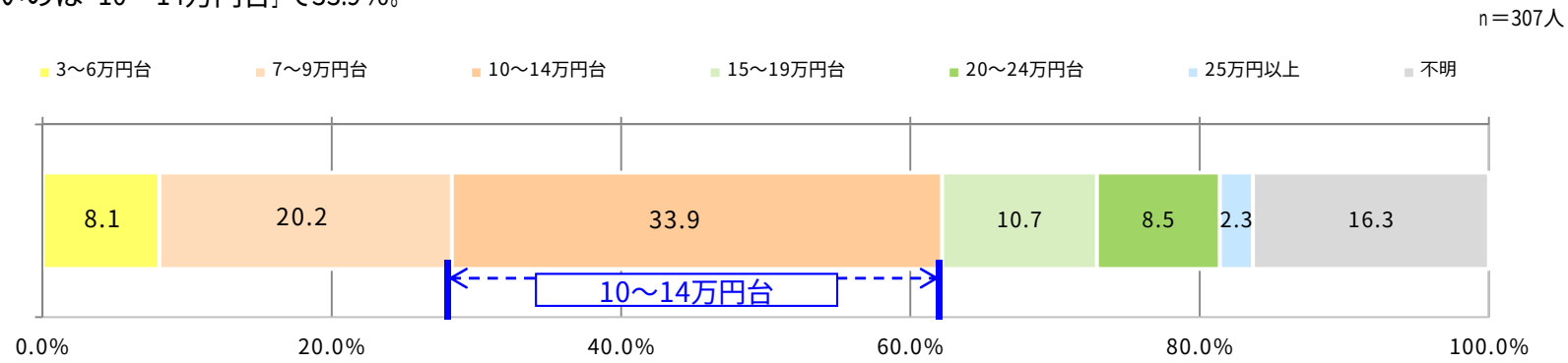
・「～2,400万円台」が3割近くと、他層より多い。

		～1,900万円台	2,000～2,400万円台	2,500～2,900万円台	3,000～3,400万円台	3,500～3,900万円台	4,000～4,400万円台	4,500～4,900万円台	5,000～5,900万円台	6,000万円～	不明	～2,400万円
全体	1,111人	5.3	13.4	6.6	29.7	5.7	12.0	0.7	9.5	2.1	15.0	18.7
男性	466人	6.1	14.4	6.9	31.5	3.4	14.6	0.4	10.5	1.3	10.9	20.5
女性	594人	4.4	12.5	6.4	29.1	7.1	10.6	0.7	8.9	2.7	17.7	16.9
20～30代	231人	2.6	9.1	4.8	31.2	9.1	16.0	1.3	9.5	3.0	13.4	11.7
40代	237人	4.6	12.2	6.8	28.7	8.0	13.1	0.4	11.8	3.4	11.0	16.8
50代	187人	5.9	12.8	3.7	28.9	4.8	11.2	0.5	11.8	1.6	18.7	18.7
60代	270人	7.4	17.4	8.5	27.4	2.6	10.7	0.7	7.4	0.8	17.0	24.8
70代～	183人	6.0	15.3	8.7	32.8	3.8	8.2	0.0	7.7	1.6	15.8	21.3
単身60代～	35人	14.3	14.3	8.6	28.6	5.7	2.9	0.0	11.4	0.0	14.3	28.6

11.住み替える場合の賃貸家賃上限金額(住み替え賃貸希望の人:数字記入)[Q23]

[全体]

・最も多いのは「10～14万円台」で33.9%。



[年代別]

・全ての年代で「10～14万円台」が多い。

「9万円台以下」は年代が若いほど多いが、若い人の方が直近の相場感を理解していることも影響しているとみられる。

[単身60代～]

・人数が少なく不明も多い為、参考値。

		3～6万円台	7～9万円台	10～14万円台	15～19万円台	20～24万円台	25万円以上	不明	9万円台以下
全体	307人	8.1	20.2	33.9	10.7	8.5	2.3	16.3	28.3
男性	123人	8.1	23.6	35.8	7.3	8.1	3.3	13.8	31.7
女性	169人	8.3	18.9	30.8	13.6	9.5	1.2	17.8	27.2
20～30代	47人	12.8	36.2	29.8	6.4	2.1	0.0	12.8	49.0
40代	49人	8.2	26.5	32.7	8.2	4.1	2.0	18.4	34.7
50代	57人	7.0	15.8	35.1	10.5	10.5	1.8	19.3	22.8
60代	92人	7.6	14.1	42.4	12.0	8.7	3.3	12.0	21.7
70代～	62人	6.5	16.1	24.2	14.5	14.5	3.2	21.0	22.6
単身60代～	16人	0.0	18.8	25.0	31.3	6.3	0.0	18.8	18.8

12.住み替える場合、現住宅をどうするか(複数回答)[Q24]

≪ポイント≫
・「子供に譲る」は子供の意向に負う部分が高く、結論を先延ばしにせざるを得ない(決断できない)大きな要因となっているとみられる。
⇒子供の住まいに関する課題解決も含めたトータルでの提案が必要と推察される。

[全体]

・「売却する」が5割、「子供に譲る」が4割。

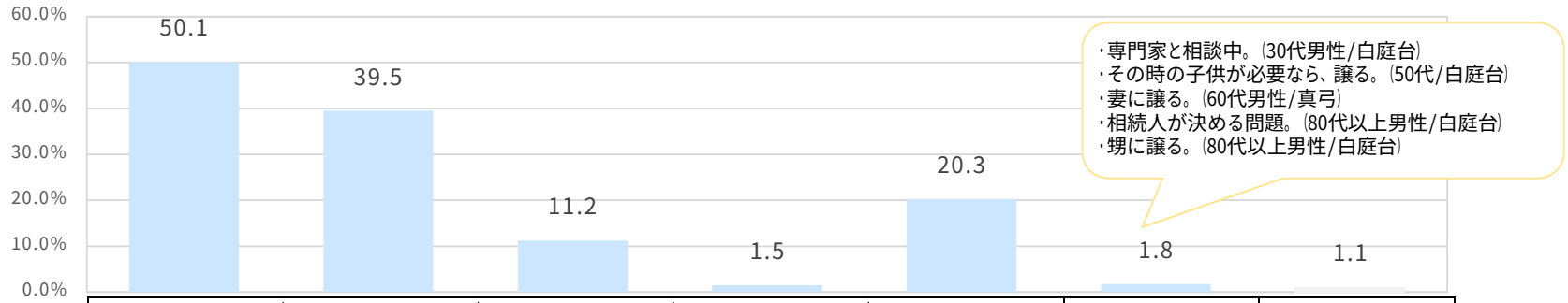
[年代別]

・どの年代でも「売却」が多い。「子供に譲る」は年代が高くなるほど増える。『20～30代』『40代』では、「第三者に貸す」も他年代に比べて少し高い。

[住居形態別]

・『集合住宅』は「売却する」が過半数。「子供に譲る」は少なく、「第三者に貸す」方が多い。

n＝1,421人



		売却する	子供に譲る	第三者に貸す	しばらく空き家にしておく	わからない	他	不明
全体	1,421人	50.1	39.5	11.2	1.5	20.3	1.8	1.1
男性	582人	52.2	44.3	10.8	1.7	16.0	1.5	1.7
女性	769人	49.7	35.9	11.6	1.4	22.8	2.1	0.8
20～30代	279人	58.4	29.4	19.0	0.4	23.7	2.2	0.7
40代	282人	52.8	35.8	15.2	0.4	20.9	2.5	0.7
50代	237人	43.5	40.9	9.3	2.1	23.6	2.1	0.4
60代	360人	49.7	42.8	8.1	1.9	18.9	1.1	1.4
70代～	260人	45.0	48.8	4.6	3.1	14.6	1.5	2.3
単身60代～	49人	50.1	39.5	11.2	1.5	20.3	1.8	1.1
戸建住宅	1180人	48.9	43.4	8.7	1.9	20.8	1.4	1.1
集合住宅	219人	55.3	19.6	24.7	0.0	18.7	3.7	1.4

13.住み替える場合のきっかけ(複数回答)[Q25]

[全体]

・高い回答(3割以上)は、「一人暮らしになったら」「自分や家族の健康状態が悪化したら」「今の住まいに不具合が生じたら」。

[年代別]

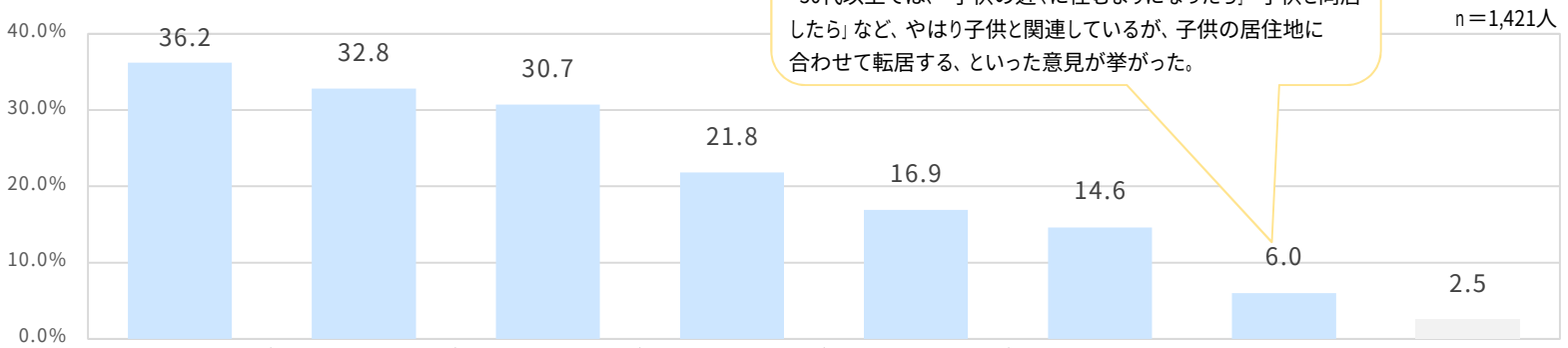
・**『50代以上』は、「一人暮らしになったら」「自分や家族の健康状態が悪化したら」がきっかけになる。**

・**『40代以下』では、「子供が独立して夫婦のみになったら」「金銭的な余裕ができたら」がきっかけになる。**

[単身60代～]

・**「自分や家族の健康状態が悪化したら」が大半を占める。**

≪その他自由回答≫
・40代以下では、「子供が成長・子供が増えて手狭になったら」「子供の教育環境」など、子育てに関連しての声が複数挙がる。
・50代以上では、「子供の近くに住むようになったら」「子供と同居したら」など、やはり子供と関連しているが、子供の居住地に合わせて転居する、といった意見が挙がった。



		一人暮らしになったら	自分や家族の健康状態が悪化したら	今の住まいに不具合が生じたら	子供が独立して、夫婦のみの暮らしになったら	金銭的な余裕ができたら	日々の買い物に不便を感じるようになったら	他	不明
全体	1,421人	36.2	32.8	30.7	21.8	16.9	14.6	6.0	2.5
男性	582人	38.1	34.4	29.2	21.0	18.0	13.6	4.5	3.1
女性	769人	34.9	31.3	31.5	22.4	16.6	15.7	7.4	1.8
20～30代	279人	20.8	22.9	33.3	35.8	25.4	11.8	7.2	1.1
40代	282人	24.1	23.8	34.0	38.3	25.2	11.0	6.0	1.4
50代	237人	40.1	34.2	27.8	24.5	16.9	13.1	5.5	0.8
60代	360人	45.8	43.6	30.3	8.1	10.0	17.2	5.0	3.1
70代～	260人	49.2	37.3	27.7	4.6	8.5	18.8	6.5	5.8
単身60代～	49人	0.0	75.5	22.4	2.0	0.0	22.4	4.1	6.1

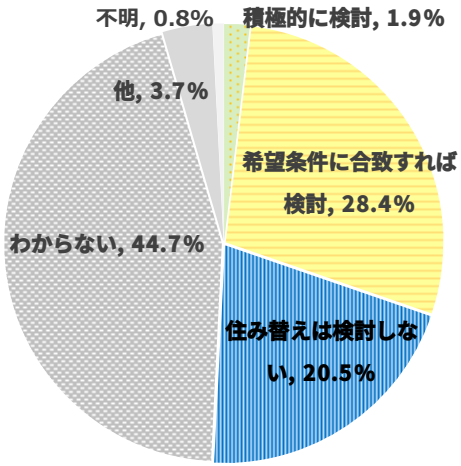
14.車で10分程度の場所にシニア向け住宅ができれば将来住み替えを検討するか(単数回答)[Q27]

[全体]

・「わからない」が半数近くを占める。

※「わからない」を除くと、「積極的に検討＋検討」と「検討したくない」を比べると、
「検討する」3：「検討しない」2　と、「検討する」方が多い。

n＝1,421人



[年代別]

・『60代以上』では「わからない」が下がり、「希望に合う良い条件に合致すれば検討したい」が3割強と増える。

		積極的に住み替えを検討したい	価格やサービスなどが魅力的で希望に合う良い条件に合致すれば、住み替えを検討したい	近くでも、住み替えを検討したくない	わからない	他	不明
全体	1,421人	1.9	28.4	20.5	44.7	3.7	0.8
男性	582人	2.2	29.4	22.0	42.8	2.7	0.9
女性	769人	1.7	28.3	19.5	45.4	4.3	0.8
20～30代	279人	2.2	27.6	17.6	47.0	5.0	0.7
40代	282人	1.4	26.2	14.9	53.5	3.5	0.4
50代	237人	1.3	23.2	19.0	52.3	3.8	0.4
60代	360人	0.8	31.9	22.8	39.7	4.2	0.6
70代～	260人	4.2	31.2	27.7	33.1	1.5	2.3
単身60代～	49人	2.0	34.7	24.5	34.7	2.0	2.0

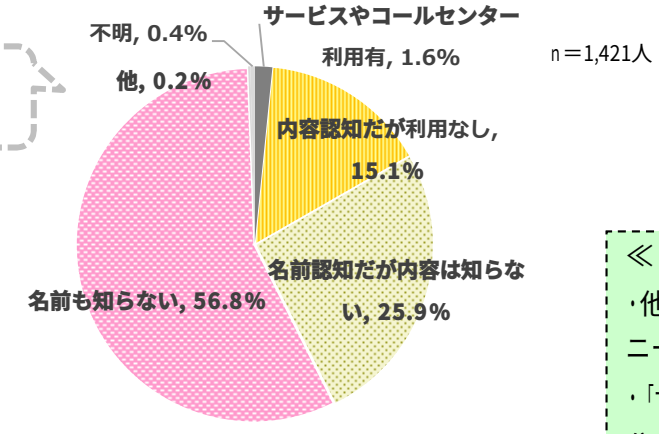
≪その他自由回答≫
・60代以下では、(将来を想定しての回答と記載しているが)、「まだ先なので考えられない」といった声が多い。
・60代でも、「現時点では考えられない」とする人が多かった。

＜ご参考＞ 「近鉄“楽・元気”生活」サービスの認知と利用(単数回答)[Q28]

[全体]

・「利用したことがある」人は1.6%。「知らない」とした人が6割弱。知っている人でも「名前は聞いたことはあるが内容はよく知らない(26%)」が多い。

「近鉄“楽・元気”生活」サービスの**チラシを同封して設問**



≪ポイント≫
・他の設問にもみられるとおり、住宅や暮らしに関わるニーズはある。
・「サービス内容の質や価格」ではなく、認知度のハードルをクリアする必要がある。

[年代別]

・どの世代も「知らない」人が半数以上と多い。特に年代が若いほど「知らない」は高い。

[単身60代～]

・他の設問では暮らしの身の周りのことで困っていることが他層より多かったが、「知らない」が5割と多く、「利用したことがある」はゼロ。

		サービスやコールセンターを利用したことがある	知っているが、サービスやコールセンターを利用したことはない	名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	名前も知らない	他	不明
全体	1,421人	1.6	15.1	25.9	56.8	0.2	0.4
男性	582人	1.5	13.4	25.8	58.9	0.0	0.3
女性	769人	1.7	16.8	26.5	54.4	0.4	0.3
20～30代	279人	1.1	10.4	21.9	66.3	0.4	0.0
40代	282人	1.8	13.1	23.8	61.0	0.4	0.0
50代	237人	2.1	18.1	22.8	56.5	0.0	0.4
60代	360人	1.9	18.6	26.9	51.9	0.3	0.3
70代～	260人	1.2	14.6	33.8	49.2	0.0	1.2
単身60代～	49人	0.0	16.3	26.5	53.1	0.0	4.1